

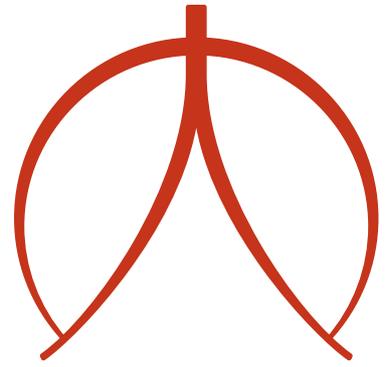
大谷大学広報

編集 大谷大学広報編集委員会

No.157

2004年4月1日

2004 **春**



冬扇

それぞれの文化には特有の時間意識がある。日本文化は、この点で非常に興味深い事例を提供しているだろう。1873年のグレゴリオ暦導入以来、西洋の抽象的時間概念が土着の時間を支配下に置き、突然の近代化と時間の高速化をもたらした。日本時計産業の栄光の歴史はここに生まれ、というわけである。しかし前近代的な日本の時間は、西洋性と対立することなく、むしろ重層した形で共存し

ていった。「厄年」、「大安」と「仏滅」といった言葉は今なお幅を利かせている。1966年の「丙午」では出生率が4分の1も低下し、第二次大戦終結の年と同程度の窪みを統計グラフ上に描いたという。疫病でも自然災害のせいでもない、ただ夫を殺す、あるいは嫁の貰い手がないという危険を避けるための、日本の時間観念のゆえだった。

生まれ年で負い目をおわせるのは、肌の色で人を差別するのと同

じ、民主主義への違反行為である。しかし日本人は出産制限によってこの差別を周縁へ追いやるという、実にエレガントかつ平和裏な方法を選んだわけだ。次の「丙午」は2026年である。さらに医療が進歩したその時代には、日本人は近代的技術を用いて男子を出産し、前近代的「迷信」に奉仕することだろう。

(Albrecht Decke=Cornill)
教授 ドイツ文学・哲学

ほんとうの自分を生きるために

学長 木^き 村^{むら} 宣^{せん} 彰^{しょう} (教授・仏教学)

草木が芽吹き、花がほころび、季節が生まれ変わる春は、まさに歓喜の時です。ことに雪国に生まれた私にとっては、永く厳しい冬を抜け出して光あふれる春は心が高ぶる季節です。本学にとっても春は新入生を迎える歓びの季節です。今年もまた数多くの新入学生の皆さんを迎えることができ大変に嬉しく思います。

皆さんもまた、ひとまず高校生活にあるいはこれまでの生活に区切りをつけて、新たな大学生活に夢をふくらませていることでしょう。

昨年まで受験の準備に余念がなかった皆さんは、受験生と呼ばれていました。この受験生という言葉が文字通りに解すれば‘受験’に‘生’きる人ということですから、貴重な青春の一時期を受験のために生きてきたことになりま

す。よく考えてみれば受験はあくまでも大学に入学して学ぶための手段に過ぎません。さらに大きな人生の目的からすれば、それこそ受験は手段の、そのまた手段にか過ぎないのです。人生にとって大切なのはやはり人間が生きるほんとうの目的です。何のために生きているのか。何のためにガンバっているのか。何のために努力しているのか。一度は立ち止まって考えてみたいものです。世に受験生と呼ばれている人は、実はこれからの人生に希望の炎を燃やす希望生でなくてはなりません。

新入学生の皆さんは希望生です。現に、これからの大学生活に大きな志を抱いて本学の門をくぐったことでしょう。ところが、各自それぞれに志を持っているのに、なぜか他人の生き方が気になります。お互いに他人の花が赤く美しく見えてしまうのです。それぞれ顔かたちも性質も能力も、み

な異なっており、個性的なのに、なぜか他人のことが気になり、他人と同じことがしてみたいと心が揺れることがあります。しかし、これから始まる本学での学生生活は、与えられた人生でなく、各自が創り出す人生です。自分自身の生き方に誇りをもち、自らの進み道に自信を持って着実な歩を進めてほしいものです。

およそ人間のなすことは、何ごとも“これを行おう”“これを成し遂げたい”という意志から始まるものです。志がなく、願いがなくては何も始まりません。世の中にはラッキーで苦労なくして偶然に成功したようにみえる人がいたとしても、それにはさまざまな因縁があり、何よりも“このようにありたい”と願っているから成し遂げられたのです。“マラソンをしよう”と思わない人が、偶然に42.195キロを完走してしまったと



木村宣彰学長

いうことはあり得ませんし、“あの山に登ろう”と願わない人が偶々山の頂に立っていたということは決してないでしょう。そうだとすれば、何かを達成した人は、そのようになりたいと願った人ではないでしょうか。だから、ほんとうに自分の道を歩もうと思う人は心底から“私は、これを成し遂げたい”という強い願いを持つことが大切です。

将来に向かって進んで何かをしようという積極的な意欲をもつことはとても大事なことです。しかし未来を夢見るだけでは何も成就しない。やはり現在の努力が必要なことは言うまでもありません。自分にとっての確かな目標があれば、実現がまだまだ先のことだとしても、それを達成したときの感動を先取りして想起し、それをイメージすることによって張り合いのある生活を営むことができるも

のです。はっきりした目標をもって努力していくとき、たとえ困難が伴っても、それは生き甲斐のある充実した生活になるのです。人間というものは目的さえはっきりすれば苦難が多くても、その苦難が生きていることの根拠となります。志をもつことが学生として意義のある時期を過ごす大切な智慧です。志があれば目の輝きが自ずと変わってくるものです。

人間が自らを見失い混迷を深めつつある現代、そこに生きる私たちは、今こそ“人間とは何であり、いかに生きるべきか”を問い直してみなければなりません。“ほんとうの自分を生きる”ためには与えられた知識ではなく、創り出す智慧が求められているのです。大谷大学とともに自分を生きていきましょう。

C O N T E N T S

- p. 2…新入生の諸君を迎えて
- p. 4…大谷大学版!! トリビアの泉
～素晴らしきムダ(?)知識～
- p. 8…CAMPUS-TOPICS
- p.18…「学生向け情報提供システム」
の利用について～
- p.19…出版物紹介
- p.20…国際交流トピックス
- p.22…Keiji Ban
- p.26…谷大エリア散策
- p.27…写真でふりかえる大谷大学今昔
- p.28…研究室だより
学会だより
- p.29…大谷中学校・高等学校
九州大谷短期大学からの
お知らせ
- p.30…学生相談室から
- p.31…TANIDAI FRONT
- p.34…2004年度 入学試験結果
- p.35…教員研究室一覧表
- p.36…SQUARE

表紙のこぼれ

大谷大学、春のキャンパス

キラキラとした太陽の光のなかで
桜が咲き誇り
賑やかな声が飛び交う

新しい出会いの予感に
胸を弾ませながら
まわりを見まわすと
輝く笑顔でいっぱい!

冬扇

詳しくは「夏炉冬扇」という。夏の炉や冬の扇のように役にたためることの意味に用いる。ここでは役にたつたない次元をこえて一筋の道に生きる精神をあらわす。

大谷大学版!!

トリビアの泉

～素晴らしきムダ(?)知識～

無駄な知識を楽しもう 知って得するコトモナイ?

「知りたい」とは、人の根源的な欲求であろう。周りの人が知らないようなことを知っていると、つい嬉しくなる。吹聴したくもなる。見知らぬ世界を旅した人は、旅の体験を面白おかしく語ってきた。「物知り」という優越感も味わえる。まさに「知識は力なり」とはいえ、人の知らない情報（秘密）を知っていると、悪用してみたくなることもある。だからこそ、人の秘密を知る立場にある職業には、守秘義務が課せられている。ささいな知識、無駄な知識は、知っているから悪用できるものでもない安心感がある。今回は、大谷大学のトリビアを、在学生・教員・職員に紹介してもらうことにした。

みなさん！トリビアを集めて、自慢しましょう。トリビアに耳を傾けて、「へ～」と楽しみましょう。

ささやかなトリビア

阪上 綾子



「地下鉄は大谷大学を避けて通っている。」

大学の基盤が深すぎて地下鉄が通れないためである。このネタはゼミの先生から頂きました。

「学食のうどんのだしが美味しい。」

一度みなさん七味と山椒入りで食べてみてください。

「Big Valleyのワッフルもかなり美味しい。」

チョコとアイスのトッピングを忘れずに。



「一回生の授業量、勉強量は意外と多い。」

後々楽するためには避けて通れない道である。

「図書館で勉強してみると賢くなった気がする。」

但し実際に賢くなるかどうかは自分次第である。また、研究室はお茶が飲めるが少し騒がしい。学食のうどん

「クラブ、サークルはできるだけ入ってみるべきである。」

大学内での友達がぐっと増え、より一層有意義な大学生活になること間違いなし。先輩達から人生勉強を学ぶ良い機会にも。取ってみようと思う授業の内容を事前に聞ける特典付きである。写真部をおすすめします。一度クラブBOX（部室）を覗いてみてください。



部室棟



部室棟の中には、たくさんのクラブBOXがならぶ

(さかうえ あやこ)
国際文化学科 第4学年

● 学食の一品料理は午後6時15分からタダになる

中塚 幾子



普段から格安で提供されている学食の一品料理だが、午後6時15分ごろから食事を購入すると、そ

の時刻に残っていた一品料理が無料で提供されるのである。

学内に遅くまで残り、食堂にて雑談している学生などにはお馴染みであり、金欠の学生達から絶大な支持を得ているのである。この時間を目安に食堂で食事をしようとする学生も多い。

しかし、ケチるあまりに、ご飯と味噌汁のみを購入し、あまりに食事代を抑えすぎようとする、一品料理はタダにはならない。

日々、美味しくリーズナブルな価格で食事を提供して頂き、私達の学校生活を支えて下さっている「食堂のおばちゃん」に感謝である。

(なかつか いくこ)
(国際文化学科 第4学年)



食堂

(むらまつ のりふみ)
助教授 図書館学

「鈴木」といえば私のことである、と主張したとか。)



大谷大学広報57-2号

ということなく今日に至っている。(かつて近鉄球団に鈴木啓示という三二七勝をした大投手がいたが、鈴木何某という選手の入団に際し、「鈴木」といえば私のことである、と主張したとか。)



●●● 講堂棟にも名称が用意されていた ●●● 村松 法文

博綜館、尋源館、響流館、至誠館、聞思館、一号館、二号館、三号館と本学の主な建物には名称が付いている。(他に名称のない体育館、部室棟、柔道場、弓道場

● 撮影現場は大谷大学!?

安井 祥人



いまから数年前のことですが、大谷大学がテレビドラマの撮影現場になったことがあります。そのテレビドラマは、新入生のみなさんや在学生のみなさんにとっては、少し馴染みがない? かもしれませんが、テレビ朝日系で放送

されていた「京都迷宮案内」と「赤かぶ検事奮戦記」です。

「京都迷宮案内」の撮影シーンは、女優の大河内奈々子さんが、正門の南側から歩道を歩いてきて、学内に入って行くというものでした。ほんの数秒でしたが、大谷大学の正門から見える景色が、そのままテレビに映し出されたのです。また、「赤かぶ検事奮戦記」の撮影時には、旧図書館(2002年に改装されて現在は「至誠館」)の閲覧室を使って、女優の藤谷美紀さんが読書をしているという場面の撮影が行われました。

そのほか、テレビの撮影だけに

限らず、尋源館を背景にして着物カタログの写真撮影などが行われたこともあります。いつか、あなたが普段見ているテレビ番組や雑誌にも、見覚えのある大谷大学の風景が登場することがあるかもしれませんね。

(やすい よしと)
(入学センター 職員)



大谷大学正門

大谷大学「へえ〜」レベル

伊東 みさき



大谷大学に通い始めて7年。この間に私が「へえ〜」と思ったことは数知れず。今回は、その中でもよりすぐりの11個を取り上げてみたいと思う。

- レベル1) 大谷大学は「谷大」or「谷」と呼ばれている。
- レベル2) 「大谷」にちなんで1号館の学生談話室1は「Big Valley」と名づけられた。
- レベル3) 谷大のスクールバス2台には「茶バス」「青バス」という呼び名がある。
- レベル4) 門は100年で大学の東西南北を動いた。当初、正門は現在の保健室南側(公園北側)にあり、その後、烏丸通に移り、

総合化で博綜館ができたため、門柱は現在の西門に移動し、2001年北門開門時に現在の位置へ落ち着いた。

- レベル5) 現在の紫明通りに琵琶湖疎水が流れていた。そこにかかっていた橋を尋源橋という。
- レベル6) 1号館南面の壁彫には「華嚴」という名前がついている。作者は大淵陽一画伯である。
- レベル7) 過去、紫明祭には「Mr. Children」や「ゴンタ君とのっぼさん」が来たことがある。
- レベル8) 大谷大学に在籍している学生数の男女比が、ほぼ1:1になったことがある。2001年4月27日付在籍数は5015人。うち分けは男:女=2507人:2508人であった。
- レベル9) 尋源館で結婚式を挙げることができる。
- レベル10) 2号館の東側には大きな時計がついている。
- レベル11) 尋源館は1982年まで旧赤レ

ンガ本館と呼ばれ、博綜館竣工時に約半分の長さに改築された。そして、中央の鐘楼には一度も鐘がかかったことがない。

みなさんは、いくつご存知でしたか。この他にも、大谷大学にはたくさんのトリビアが眠っているはず。卒業までに探してみるのも楽しいかもしれませんね。

そして、最後に…。学生課に「結婚したら学費が半額になるって本当ですか?」と年に1人か2人聞きに来る。私も学生時代はそうだと信じていたのだが…そのようなことはありませんので、ご注意ください!

(いう みさき)
学生課 職員



博綜館がない頃に撮影された2号館
(大谷大学広報53-1号表紙)

一九六〇年代中頃のある授業風景

築山 修道

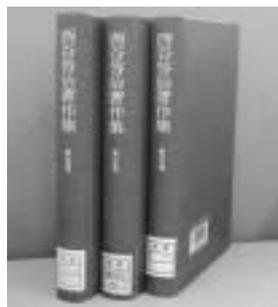


一九六三年四月、大谷大学は西谷啓治先生を哲学科教授としてお迎えした。当時、先生の演習や文献研究の授業は、本来受講すべき本学の学生よりも、本学、京都大学あるいは同志社大学の教授、助教授、助手、院生などいわゆる潜りの聴講者の方が多いう年もあった。

そうした現象は当時でも他の授業では見られない珍しい光景であった。しかし、学部生から院生、学内外の教員、さらには一般市民にいたるまでいろんな人々が同じ授業を受け、自身の課題と重ね合わせてその場で共に思考し、それぞれに充足感が得られるような感銘深い授業は他にもあった。

こうした授業風景は、当時大谷大学には誰が聴講してもそれぞれの立場とレベルで有意義な示唆を得て、多くを学びうるすばらしい授業があったことを物語るものである。西谷啓治著作集の中の『大谷大学講義』三(第二四、二五、二六)巻はその証の一つである。

つきやま しゅうどう 教授
英語・英文学、
比較思想・国際文化学



西谷啓治著作集



西谷啓治先生



新学長決まる

小川一乗前学長の任期満了に伴い、去る1月22日の理事会において、本学第26代学長に、木村宣彰教授の就任が決定いたしました。

新学長の任期は2004年4月1日から4年間になります。

木村 宣彰(きむら せんしょう)
1943年富山県生まれ。1966年3月大谷大学文学部(仏教学科)卒業。1973年10月大谷大学大学院文学研究科(仏教学専攻)博士課程満期退学。1994年4月大谷大学短期大学部教授。1998年4月大谷大学文学部教授。元大谷大学図書館長、大谷大学学監・文学部長。

人 事

部局長の交代

学監兼文学部長 宮下 晴輝
(前学監兼文学部長 延塚 知道)
大学院文学研究科長 大内 文雄
(前大学院文学研究科長 池上 哲司)
短期大学部長 築山 修道
(前短期大学部長 小谷信千代)
学生部長 一楽 真
(前学生部長 禿 憲仁)
真宗総合学術センター長 沙加戸 弘
(前真宗総合学術センター長 木場 明志)
入学センター長 高井 康弘
(前入学センター長 寺林 脩)
2004年4月1日付(各通)

退職・解任

定年退職

[教育職員]

荒井とみよ(教授・短期大学部)
小川 一乗(教授・文学部)
河内 昭円(教授・文学部)
崎野 隆(教授・文学部)
大山 喬平(特別任用教授・文学部)
谷 泰(特別任用教授・文学部)

契約期間満了による退職

[任期制助手]

鈴木 未来
高木 淳善
林 奈美子
藤原 崇人
箕浦 暁雄
山内 清郎
吉田 綾
輪田 直子

[事務系嘱託]

一本 絢子(学生支援部)
大浦 優子(教育研究支援部)
小笠原洋美(教育研究支援部)
片岡 敬子(教育研究支援部)
河野 真紀(校友センター)
喜多 孝子(教育研究支援部)
高畑 知子(教育研究支援部)
小山 絵里(教育研究支援部)
狭山 光恵(総務部)
島川 雅(学生支援部)
下村 真理(教務部)
高木 陽子(企画室)
高峯 章子(教育研究支援部)
戸田喜美子(総務部)
藤本 有香(教育研究支援部)
鈎 知実(教育研究支援部)
松本 寛子(教務部)
山崎 淳世(教育研究支援部)
頼富万里子(校友センター)

[寮監]

橋本 真(貫練学寮)
藤並 慈美(自灯学寮)
2004年3月31日付(各通)

依願退職

[教育職員]

田中 裕喜(専任講師・短期大学部)
[寮監]
古谷 伸子(自灯学寮)
2004年3月31日付(各通)

新規採用・任命

[教育職員]

乾 源俊(教授・文学部)
田辺 繁治(教授・文学部)
徳岡 博巳(助教授・短期大学部)
天野 勝重(専任講師・短期大学部)
采翠 晃(専任講師・文学部)
田村 晃徳(任期制講師・文学部)
藤堂 貴弘(任期制講師・文学部)

[任期制助手]

井黒 忍
伊村 大樹
岡本 敦之
小坂 美樹
清水 洋平
西本 祐攝
長谷川 慎
早川 智美
星津 香織

[事務職員]

田中 茂雄(書記・企画室)
秦 信明(書記補・教務部)
森脇 公久(書記・教務部)
山本 幸子(書記補・教育研究支援部)

[事務系嘱託]

浅井 恵(教育研究支援部)
飯塚 恵子(教育研究支援部)
大垣磨己子(学生支援部)
柏 淳子(教育研究支援部)
久保 法子(教育研究支援部)
清水 美穂(教育研究支援部)
武邑 知子(教育研究支援部)
戸出 真美(教育研究支援部)
中井 晴恵(教育研究支援部)
永井 詞子(教育研究支援部)

濱口 映子 (教育研究支援部)
 平田 亜津子 (総務部)
 福岡 真美 (学生支援部)
 堀田 香代子 (総務部)
 前田 真代 (教務部)
 俣野 知子 (教育研究支援部)
 松野 有希 (学生支援部)
 松村 瑛子 (学生支援部)
 山崎 悠子 (企画室)
 山下 智美 (校友センター)

[図書館長]
 沙加戸 弘 (兼任)
 [総合研究室主任]
 門脇 健
 2004年4月1日付 (各通)

昇格

[教授]
 泉 恵機 (文学部)
 佐藤 義寛 (短期大学部)
 高井 康弘 (文学部)

中川 皓三郎 (短期大学部)
 福田 洋一 (文学部)
 藤嶽 明信 (文学部)
 ロバート F. ローズ (文学部)
 渡辺 啓真 (文学部)
 [助教授]
 谷口 奈青理 (文学部)
 松川 節 (文学部)
 村山 保史 (文学部)
 山本 和彦 (文学部)
 山本 貴子 (文学部)
 2004年4月1日付 (各通)

新任教職員の紹介

①略歴 ②専門分野 (所属)



教授
(文学部)
 乾 源俊
(いぬい もととし)

①1984年3月福井大学卒業。1987年3月東北大学大学院文学研究科博士課程前期2年の課程修了。1988年3月東北大学大学院文学研究科博士課程後期3年の課程退学。前高知大学人文学部助教授。
 ②中国文学



教授
(文学部)
 田辺 繁治
(たなべ しげはる)

①1970年3月京都大学文学部史学科卒業。1972年3月京都大学大学院文学研究科(修士課程)修了。1974年6月京都大学大学院文学研究科(博士課程)退学。1981年8月 Ph.D.(ロンドン大学東洋アフリカ学院大学院)。前国立民族学博物館教授。前総合研究大学院大学文化科学研究科教授。
 ②社会学 (文化人類学)



助教授
(短期大学部)
 徳岡 博巳
(とくおか ひろみ)

①1977年3月京都府立大学文学部社会福祉学科卒業。前龍谷大学非常勤講師。前大谷大学非常勤講師。前社団法人京都勤労者学園非常勤講師。
 ②社会福祉学



専任講師
(短期大学部)
 天野 勝重
(あまの かつしげ)

①1994年3月神戸大学文学部(文学科国文学専攻)卒業。1997年3月神戸大学大学院文学研究科修士課程修了。2004年3月神戸大学大学院文化科学研究科(博士課程)単位取得満期退学。前西神看護専門学校非常勤講師(文学)。前神戸松蔭女子学院大学文学部総合文芸学科非常勤講師。前大谷大学文学部文学科非常勤講師。
 ②国文学



専任講師
(文学部)
 采翠 晃
(わけみ あきら)

①1992年3月明治大学文学部文学科(日本文学専攻)卒業。1994年3月大谷大学文学部仏教学科(仏教学分野)卒業。1996年3月大谷大学大学院文学研究科修士課程(仏教学専攻)修了。1999年3月大谷大学大学院文学研究科博士後期課程(仏教学専攻)満期退学。2002年博士(文学)(大谷大学)。前大谷大学文学部非常勤講師。
 ②仏教学



任期制講師
(文学部)
 田村 晃徳
(たむら あきのり)

①1994年3月立命館大学文学部哲学科哲学専攻卒業。1996年3月大谷大学大学院文学研究科修士課程(真宗学専攻)修了。1999年3月大谷大学大学院文学研究科博士後期課程(真宗学専攻)満期退学。2002年博士(文学)(大谷大学)。前親鸞仏教センター研究員。
 ②真宗学



任期制講師
(文学部)
 藤堂 貴弘
(とうどう たかひろ)

①1997年3月京都工芸繊維大学工学部電子情報工学科卒業。1999年3月京都工芸繊維大学大学院工学科学研究科電子情報工学専攻(博士前期課程)修了。2003年3月京都工芸繊維大学大学院工学科学研究科情報・生産科学専攻(博士後期課程)修了。2003年博士(工学)(京都工芸繊維大学)。
 ②電子情報工学



任期制助手
 井黒 忍
(いぐる しなの)

①1998年3月京都大学文学部卒業。2000年3月京都大学大学院文学研究科修士課程(歴史文化学専攻東洋史学専修)修了。2003年3月京都大学大学院文学研究科博士後期課程(歴史文化学専攻東洋史学専修)単位認定退学。前京都大学文学部研修員。
 ②歴史学



任期制助手
 伊村 大樹
(いむら ともき)

①1997年3月京都大学文学部英語学(英米文学専修)卒業。1999年3月京都大学大学院文学研究科修士課程(英語学英米文学専修)修了。2001年9月英国サセックス大学大学院 M.A.コース修了、M.A.取得(英文学)。2004年3月京都大学大学院文学研究科博士後期課程(英語学英米文学専修)退学。
 ②英米文学



任期制助手
岡本 敦之
(おかもと あつし)

①1999年3月大谷大学文学部哲学科卒業。2001年3月大谷大学大学院文学研究科修士課程(哲学専攻)修了。2004年3月大谷大学大学院文学研究科博士後期課程(哲学専攻)満期退学。
②哲学



任期制助手
小坂 美樹
(こさか みき)

①1991年3月大阪大学文学部仏文学科卒業。1994年3月大阪大学大学院文学研究科前期(修士)課程(仏文学専攻)修了。1999年3月大阪大学大学院文学研究科後期(博士)課程(仏文学専攻)単位修得退学。2000年7月フランス・ナント大学大学院(仏文学専攻)第3(DEA)課程修了。前大阪薬科大学非常勤講師。前大谷大学非常勤講師。大阪大学非常勤講師。
②仏文学



任期制助手
清水 洋平
(しみず ようへい)

①1997年3月大谷大学文学部仏教学科卒業。1999年3月大谷大学大学院文学研究科修士課程(仏教学専攻)修了。2003年3月大谷大学大学院文学研究科博士後期課程(仏教学専攻)満期退学。前大谷大学真宗総合研究所研究補助員。
②仏教学



任期制助手
西本 祐攝
(にしもと ゆうせつ)

①1997年3月熊本大学工学部材料開発工学科卒業。1999年3月大谷大学文学部真宗学専攻卒業。2001年3月大谷大学大学院文学研究科修士課程(真宗学専攻)修了。2004年3月大谷大学大学院文学研究科博士後期課程(真宗学専攻)満期退学。前大谷大学真宗総合研究所清沢満之研究班研究補助員。
②真宗学



任期制助手
長谷川 慎
(はせがわ まこと)

①1997年3月大谷大学文学部文学科卒業。1999年3月大谷大学大学院文学研究科修士課程(仏教文化学東洋文化専攻)修了。2002年3月中国揚州大学中国文化研究所修了。2003年3月大谷大学大学院文学研究科博士後期課程(仏教文化学東洋文化専攻)満期退学。前大谷大学非常勤講師。前大谷大学真宗総合研究所嘱託研究員。
②中国文学



任期制助手
早川 智美
(はやかわ さとみ)

①1996年3月大谷大学文学部文学科(中国文学分野専攻)卒業。2000年3月大谷大学大学院文学研究科修士課程(仏教文化専攻)修了。2004年3月大谷大学大学院文学研究科博士後期課程(仏教文化専攻)満期退学。
②中国文学



任期制助手
星津 香織
(ほしづ かおり)

①1999年3月立命館大学文学部哲学科(心理学専攻)卒業。2001年3月大谷大学大学院文学研究科修士課程(社会学専攻)修了。2004年3月大谷大学大学院文学研究科(社会学専攻)博士後期課程満期退学。
②社会心理学



事務職員
(書記)
田中 茂雄
(たなか しげお)

①1996年3月岐阜経済大学経済学部経済学科卒業。2002年3月ECC外語学院英語専科(全日制)レベル3卒業。前株式会社シーテック勤務。
②企画室



事務職員
(書記補)
秦 信明
(はた しんみょう)

①2004年3月大谷大学文学部人文情報学科卒業。
②教務部



事務職員
(書記)
森脇 公久
(もりわき ひろひさ)

①1999年3月大阪経済大学経済学部経済学科卒業。前株式会社和歌山銀行勤務。
②教務部



事務職員
(書記補)
山本 幸子
(やまもと さちこ)

①1998年3月大谷大学短期大学部文化学科卒業。2003年4月北京第二外国语学院漢語進修班卒業。
②教育研究支援部



事務系嘱託
(教育研究支援部)
浅井 恵
(あざい けい)



事務系嘱託
(教育研究支援部)
飯塚 恵子
(いづか けいこ)



事務系嘱託
(学生支援部)
大垣 磨己子
(おたがき まみこ)



事務系嘱託
(教育研究支援部)
柏 淳子
(かしわ じゅんこ)



事務系嘱託
(教育研究支援部)
久保 法子
(くぼ のりこ)



事務系嘱託
(教育研究支援部)
清水 美穂
(しみず みほ)



事務系嘱託
(教育研究支援部)
武邑 知子
(たけむら ともこ)



事務系嘱託
(教育研究支援部)
戸出 真美
(といで まみ)



事務系嘱託
(教育研究支援部)
中井 晴恵
(なかい はるえ)



事務系嘱託
(教育研究支援部)
永井 詞子
(ながい うたこ)



事務系嘱託
(教育研究支援部)
濱口 映子
(はまぐち えいこ)



事務系嘱託
(総務部)
平田 亜津子
(ひらた あつこ)



事務系嘱託
(学生支援部)
福岡 真美
(ふくおか まみ)



事務系嘱託
(総務部)
堀田 香代子
(ほった かよこ)



事務系嘱託
(教務部)
前田 真代
(まえだ まよ)



事務系嘱託
(教育研究支援部)
俣野 知子
(またの ともこ)



事務系嘱託
(学生支援部)
松野 有希
(まつの ゆき)



事務系嘱託
(学生支援部)
松村 瑛子
(まつむら えいこ)



事務系嘱託
(企画室)
山崎 悠子
(やまざき ゆうこ)



事務系嘱託
(校友センター)
山下 智美
(やました ともみ)

2004年度 学科主任一覧

[文学部]

真宗学科 藤嶽 明信
仏教学科 小谷信千代
哲学科 門脇 健
社会学科 佐賀枝夏文

史学科 木場 明志
文学科 石橋 義秀
国際文化学科 西田 潤一
人文情報学科 渡辺 啓真

[短期大学部]

仏教科 一色 順心
文化学科 鈴木 繁一
幼児教育科 藤本 芳則

幼児教育科音楽教科によるミニコンサート開催

幼児教育科音楽ⅡⅣ、の授業の中で、1月16日(金)と20日(火)音楽実習室(Ⅰ)において「第1回ミニコンサート」が催されました。第1学年と第2学年のピアノの部では、ピアノ担当の講師たちによって、それぞれのグループから選ばれた学生達が、アニメソング・ディズニーソングなどの連弾、そしてブルグミュラー・ソナチネ・ソナタ・ショパンなどの作品を緊張しながらも弾きこなしました。また声楽の部で第1学年は、「赤鼻

のトナカイ」「オズの魔法使い」「大きなかぶ」「おやゆび姫」に取り組み、準備していた小道具を用い、各自役に合った衣装をつけ、楽しいミュージカルを見せてくれました。第2学年は、「カンントリーロード」などの合唱・「小さな恋の歌」の手話・「思いでのアルバム」で歌と合奏などを発表しました。狭い教室で行われたクラス毎によるミニコンサートでしたが、学生達にとって得ることのできた音楽表現の場でした。この経

験が、将来立派な保育者に育っていく上での糧になるようにと願っています。

(幼児教育科音楽教科)



ミニコンサートの様子

「和菓子を創ろう！」留学生文化交流会開催

1月29日(木)、講堂棟談話室において、2003年度第3回目の留学生文化交流会を開催しました。

今回は「和菓子を創ろう！」と題し、「有職菓子御調進所 老松」のご協力を得て、和菓子教室を開催しました。当日は、外国人留学生11名と本学学生44名が参加し、京都の伝統品や和菓子の歴史等のミニ講義を受けた後、梅やうぐい



文化交流会の様子

すの和菓子を創りました。出来上がった作品は、参加者それぞれの個性が表れており、様々な形の梅の花が談話室いっばいに咲き誇りました。創った和菓子のうち1つは、本学茶道部に点出ししていただいたお抹茶と一緒においしくいただきました。

和菓子教室に続いて夕方からは、外国人留学生のお別れ会を兼ねた懇親会をビッグバレーにて行いました。同じ大学で学びながらも今まで会話をしたことがなかったという学部生も、日本語で外国人留学生との会話を楽しんでいました。自国への帰国が決まっている博士後期課程の2名の外国人留学生は大谷大学に7年以上在籍

し、それぞれの研究に没頭されてこられました。その2名によるスピーチは流れるような日本語で、言葉一つひとつにあたたかさを感じました。また、日本人として考えさせられることもたくさんありました。最後に彼らの口から出た「ありがとう」というみんなに向けた感謝の気持ちは、日本人の中にも忘れかけている人もいるであろう、気持ちのこもったあたたかい心からの「ありがとう」でした。

なお、2004年度第1回留学生文化交流会を、6月頃に予定しています。詳しくは学生支援部学生課までお問い合わせください。

(学生課)

「学生ボランティア」学校サポート事業の協定締結について

この度、本学は京都市教育委員会と「学生ボランティア」学校サポート事業の協定を締結しました。この事業は、京都市教育委員会が昨年度より実施しているもので、教職を目指す学生や高い専門的知識・技能を持った学生が学校・幼稚園にて教育活動支援を行

うことにより、学生の資質向上と同時に教育現場の活性化を図ることを目的としています。

調印式は2月16日(月)、本学尋源館会議室において、京都市教育委員会の門川大作教育長と本学学長の間で執り行われました。

本事業には、京都市内提携大学

の200名以上の学生が既に参加しており、参加した学生からは、「教師の仕事を現場で体験することが出来た」「子どもと直接関わることにより、教えることの難しさを学べた」と意欲的な感想が述べられています。また、受入学校や子ども達の保護者からも、「子

ども達が意欲的になった」「若い学生は子ども達には親しみやすく、指導効果に満足している」と大変好評です。

本学においては、当面教職を目指す学生を対象として送り出す予定であり、参加方法や活動内容等に関する説明会は4月に行いま

す。決まり次第、教務部掲示板にて連絡しますので、教職を目指す学生諸君で意欲、興味のある方はぜひ参加してください。

なお、本事業は授業ではありませんので、単位は与えられません。

(教務部)



左：小川一乗学長 右：門川大作教育長

「さくらんぼクラブの方々と「もちつき大会」を開催



パネルシアターで盛り上げるイナゴ君、クレヨンさん

3月2日(火)午前10時より、湖西キャンパスにおいて、もちつき大会(主催：地域子育て支援サークル「さくらんぼクラブ」)が開催されました。

この大会は、大学と近隣住民の

方々との交流事業の一環として、湖西キャンパス周辺地域の方々に、親子交流の機会として会場提供等をおこない開催されたものです。

もちつき大会の前には、児童文化研究会の稲葉維摩さん(イナゴ君)、井上恵子さん(クレヨンさん)、福岡駿介さん(タヌキ君)によるパネルシアターと人形劇が上演され、お子さんやご父母の方々にたいへんご好評をいただきました。もちつき大会では、参加者みんなで餅つきを行い、美味し

いお餅をいただきました。

当日は、小春日和のなか、26組(約60名)のご家族やボランティアの方々と楽しいふれあいのひとときを過ごすことができました。

(教育研究支援課)



へっぴり腰を笑われるタヌキ君

紫明地域文化プラザ 文化講演会開催

3月5日(金)午後1時より、響流館・メディアホールにおいて「紫明地域文化プラザ 文化講演会」が開催され、近隣住民の方々が約60名参加されました。

紫明地域文化プラザとは、紫明学区の生涯学習活動を行っている団体です。今回、大谷大学は地域交流事業の一環として、講師と会

場提供の協力を行いました。

今回の文化講演会では、「聖徳太子の仏教思想—なぜ遣隋使は派遣されたのか—」というテーマで、本学仏教学科の木村宣彰教授が、仏教学の立場からみた聖徳太子の遣隋使派遣について講演をされ、参加者からは歴史の教科書にない聖徳太子の仏教思想による国づく

りにふれることができたのご好評をいただきました。(教育研究支援課)



木村宣彰教授

稲塚英さん、勤労学生表彰を受ける

3月9日(火)に京都学生研修会館において勤労学生援助会による勤労学生表彰・奨学金授与式が行われ、本学からは文学部第3学年の稲塚英さんが表彰を受けました。

勤労学生援助会は働きながら学ぶ学生の支援団体として、1966(昭和41)年に設立された団体です。

稲塚さんは、昨年の10月より家

計が苦しくなりましたが、日本育英会奨学金を学資に充て、本人のアルバイトで家計を助け、努力しています。また、課外活動にも積極的に取り組んでおり、社会科学研究会の部長としてリーダーシップを発揮し活躍するなど、学業と課外活動を両立し、充実した学生生活を過ごしています。このたび

その努力が評価され表彰されました。(学生課)



稲塚 英さん

3名の方が博士（文学）の学位を取得

このたび、次の3名の方が、学位論文を提出され、博士（文学）の学位を取得されました。授与式は、2004年3月19日（金）本学にて行われました。

◎藤井一二 金沢星稜大学大学院地域経済システム研究科教授「東大寺開田図と古代村落の研究」

◎上場顕雄 大阪教区教化センター主任研究員「近世真宗教団と地域社会」

◎田代俊孝 同朋大学大学院文学研究科教授「親鸞浄土教における死の受容と超越」

（教務部）



授与式風景

課程博士の学位を授与



本学ではこの度、博士後期課程修了者（既修了者含む）9名に、博士（文学）の学位を授与しました。学位取得者は小川直人（真宗学）、スザ ドミンゴス（真宗学）、UDITA GARUSINHA（仏教学）、ダシュ ショバラニ（仏教学）、藤枝真（哲学）、北城伸子（仏教文

化）、長谷川慎（仏教文化）、津野泰子（仏教文化）、林観潮（仏教文化）の各氏です。

（教務部）

大谷大学博物館開館予定

大谷大学博物館では毎年4回の企画展と、1回の特別展を予定しています。企画展は、春季に「大谷大学のあゆみ」として大谷大学の歴史を、夏季と秋季に「仏教の歴史とアジアの文化」として館蔵品展を、冬季に「京都を学ぶ」として京都にまつわる展観を開催します。特別展は、館蔵品の特色を活かした展観を企画します。さらに、展観と関連させた公開講演会や博物館セミナーなども開催する予定です。

2004年度の開館予定は下記の通りです。

- 春季企画展「大谷大学のあゆみ
清沢満之と真宗学」
4月6日（火）～4月24日（土）
- 夏季企画展
5月25日（火）～8月2日（月）
- 秋季企画展
9月7日（火）～9月25日（土）
- 冬季企画展
12月7日（火）～12月25日（土）
- 特別展 10月12日（火）～11月28日（日）

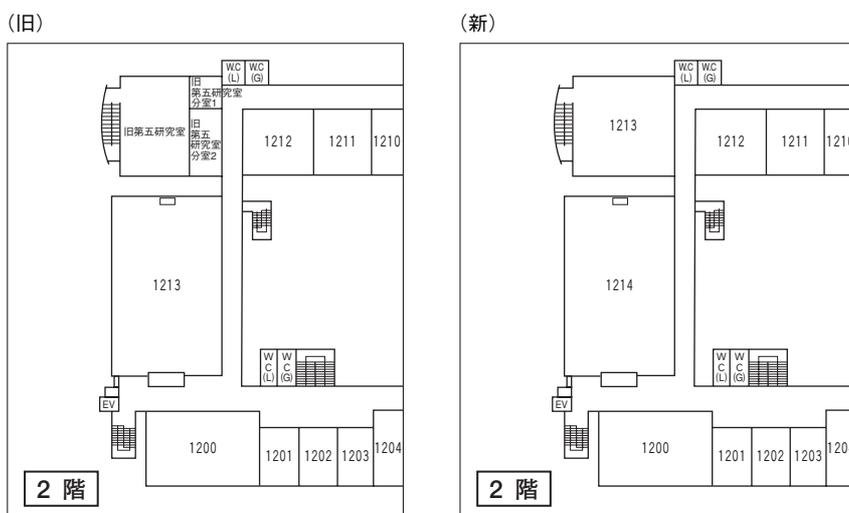
開館期間中の休館日は、原則的に日祝日および月曜日で、開館時間は午前10時から午後5時（入館は午後4時まで）です。ただし変更する場合がありますので、詳細は掲示等をご覧ください。

なお、博物館は有料ですが、在学生のみなさんは学生証の提示で入館できますので、ご来観をお待ちしています。

（博物館）

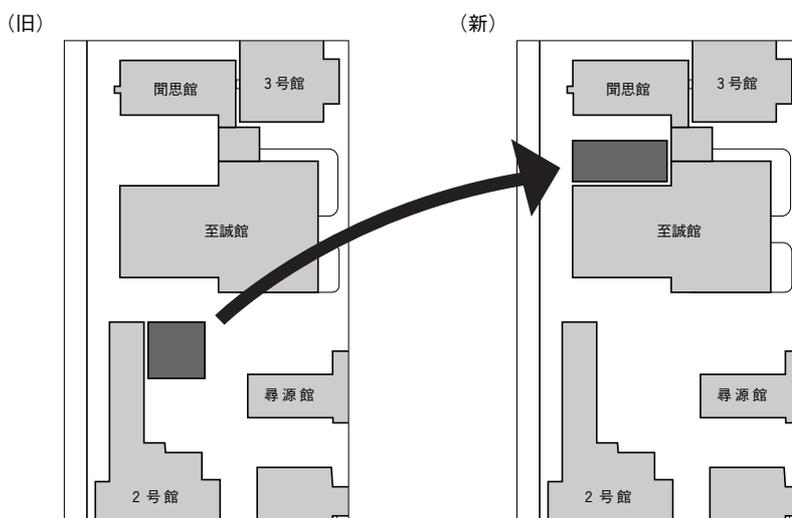
1号館2階の教室番号を一部変更しました

旧第五研究室分室部分を教室に改修いたしました。改修した教室を1213教室とし、今までの1213教室を1214教室に変更しました。



駐輪場を再整備しました

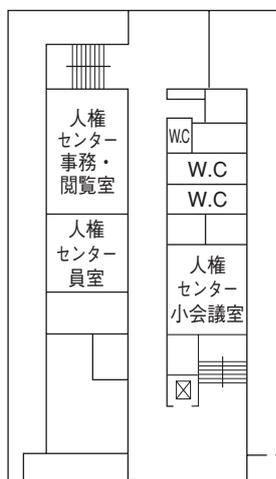
これまで2号館前（短期仏教科一般研究室前）にありました駐輪場を土の広場に戻し、聞思館ピロティ西側を駐輪場として整備しました。



人権センターを模様替えしました

人権センターをより利用しやすくするために、模様替えを行いました。

博綜館 1階



閲覧室
(総務課)

『文藝春秋』『AERA』誌コラム執筆者紹介

本学は各種の雑誌に様々な広告を掲載しています。そのいずれもが、大学教育研究の一端を紹介するものとなり、読者の方々からも高い評価を得ています。

今年度も『文藝春秋』誌に毎月「生活の中の仏教用語」、『AERA』誌に隔週で「今という時間」というコラムを掲載中です。執筆担当の先生方は次のとおりです。

○生活の中の仏教用語（『文藝春秋』）

神戸 和 磨（真宗学）

浅見 直一郎（東洋史）

木村 宣 彰（仏教学）

○今という時間（『AERA』）

一色 順 心（仏教学）

西田 潤 一（物理地質学）

浦山 あゆみ（中国語学）

三木 彰 円（真宗学）

芦 津 かおり（英米文学）

皇 紀 夫（臨床教育学・臨床教育学の方法論）

本学出版物のお知らせ

大学が刊行した次の2点は学内書店で販売しています。

インドから、中国・日本に伝えられ、「大乘の至極」として親鸞の浄土真宗に開華した仏教伝播の道をわかりやすく述べた『仏教伝来』は1,000円。



我が信念



仏教伝来

本学の初代学長であった清沢満之の「精神主義」など代表的な文章13編を集めた『我が信念 清沢満之のことば』は500円です。

大谷大学では、開学記念式典や、宗祖誕生会・御命日、報恩講などの行事に際して行われる記念講演の筆録を集め、『伝統と創造』と題して編集・刊行しています。

また、『文藝春秋』誌に掲載中の「生活の中の仏教用語」、『AERA』誌に掲載中の「今という時間」というコラムをまとめた『学苑余話Ⅶ』を、本年3月に刊行し

ました。

既刊号も含め、ご希望の方には企画室（博綜館3F TEL：075-411-8115）にて差し上げています。（企画室）



伝統と創造

大谷大学オリジナルカード販売のお知らせ

大谷大学のオリジナル製作「オレンジカード」「スルッとKANSAI」「図書カード」「テレホンカード」の販売を、企画室にて行っています。購入ご希望の方は、企画室（博綜館3F TEL：075-411-8115）までお問い合わせください。（企画室）

- ◎オレンジカード 1枚 1,000円
- ◎スルッとKANSAI 1枚 1,000円
- ◎図書カード 1枚 500円
- ◎テレホンカード 1枚 500円



オレンジカード



スルッとKANSAI



図書カード



このほど、3月19日(金)に開催された文化庁の文化審議会文化財分科会で、本学所蔵の「湯浅景基寄進状」が国の重要文化財に指定されることが決定しました。

「湯浅景基寄進状」は、「施無畏寺寄進状」とも呼ばれ、和歌山県有田郡湯浅町に住した土豪の湯浅(藤原)景基が、明恵のために施無畏寺を建立し、寄進することを記した文書です。

明恵は、紀州に生まれ、華嚴宗の学僧として高名であり、高弁と号しました。9才にして高雄神護寺に入り、文覚に師事。16才の時東大寺で受戒したのち高雄に帰り、梅尾に高山寺を開いています。持律堅固にして体験を重視する修行勉強は、「樹上座禅図」等からも窺い知ることができます。また、『華嚴唯心義』『摧邪輪』『夢之記』など、40部を超える著作を残しています。

建久6年(1195)23才の時、高雄に起こった騒動を厭い、紀伊湯浅庄白上峯に移り草庵を結んで仏道の修行に励むこと数年に及びま

した。

寛喜3年(1231)、湯浅景基は明恵が修行した地に一寺を建立して施無畏寺と名付け、明恵に寄進しました。その寄進に関わる文書が、このたび重要文化財に指定された「湯浅景基寄進状」です。

施無畏寺は和歌山県湯浅町栖原に現存し、背後に山を控え前面は海に面した景勝の地であり、桜の名所としても高名です。現在の本堂は、江戸時代の再建です。

文書の内容は、明恵壮年の当初閑居の遺跡を記念し、山海の四至を限って殺生禁断の地とし、施無畏寺を建立して明恵に寄進することを述べ、一族五十余名が殺生禁断を誓って連署しています。

また、寛喜3年4月17日付けの明恵自署による外題証判があり、これによれば「為本堂供養下向之次第加判行也」とあって本堂供養の法会に明恵自らが参向したことが知られます。また、この年は明恵没年の前年にあたるところから、晩年の筆跡を知るうえでも貴重な史料です。

本文始めには室町時代と推定される高山寺の朱印があり、その古い出所を知ることができます。

今回の重要文化財指定は、すでに重文指定されている施無畏寺に所蔵される同様の文書との関連、明恵関連の史料として重要である点、また地方豪族の花押史料としても珍重すべきである点などが評価されたものです。

この史料は、江戸末期の東本願寺の僧で、本山の命により正確な仏典を伝えるために、黄檗版大蔵経を建仁寺の高麗版大蔵経と校合した事業で名高い丹山順芸師の旧蔵になるものです。丹山順芸師は、学問に秀でるとともに文雅の志も深く、頼山陽・東条義門らとも親交を重ねた人でもありました。

なお、今回の重文新指定に伴い、大谷大学が所蔵する重要文化財は、宋拓「化度寺故僧邕禅师舍利塔銘」、宋拓「信行禅师興教碑」、『判比量論』断簡、『三教指帰注集』、『高野雑筆集』、『春記』、『選択本願念仏集』と共に8点となりました。(博物館)

～「学生向け情報提供システム」の利用について～

「学生向け情報提供システム」は、学内の掲示板にてお知らせしている事項や問い合わせの多い事項などに即時対応するためにつくられたシステムです。自宅などのパソコンからインターネットを利用して、大学からの情報を受け取ることができます。

詳細については、サービス対象者に配布されたチラシを参照してください。



(トップページ)最新の掲示板情報を表示します

サービス内容 〈科目等履修生・聴講生も利用できます〉

■掲示板

学生生活に必要な情報（授業・試験・奨学金・進路支援・連絡事項など）をカテゴリごとに配信します。

個人掲示板では学生呼出・個人的な連絡事項などをお知らせします。

■授業情報

休講・補講・教室変更などの情報を時間割形式や一覧形式にて表示します。

■時間別教室状況

教室ごとに授業使用状況を表示します。

■就職支援

求人検索ができます。また求人票や企業データを閲覧することも可能です。



週間授業情報（個人の登録に合わせて、時間割形式で休講情報などを表示します。ただし、サービス開始は、聴講登録確定後になります。）



授業変更一覧（休講・補講・教室変更について一覧形式で表示します。）

利用方法

大谷大学ホームページ (<http://www.otani.ac.jp/>) より「学生向け情報提供システム」をクリックしてご利用ください。（利用するためには「学生向け情報提供システム」用のIDとパスワードが必要です）

◆携帯電話でも以下の項目を確認することができます◆

①休講情報 ②個人別時間割（休講表示有り） ③個人掲示板

●利用方法についてはパソコン版「学生向け情報提供システム」の

【一般掲示板】で確認してください。



「パソコンに関するアンケート」実施について

「学生向け情報提供システム」では、さらなるサービスの充実を目指しています。内容等の変更については、「学生向け情報提供システム」「大谷大学広報」「学内掲示板」などにて随時お知らせしていきます。また、今後の参考のために、学生の皆さんを対象に「パソコンに関するアンケート」を実施します。アンケートは、聴講登録表の配布ファイルに挟み込んでありますので、(4月5日(月)～23日(金)) 至誠館1F教務部・学生課前の回収箱に提出してください。ご協力をお願いします。

出版物紹介

- ◎『小川一乗 仏教思想論集』
 (全4巻)
 小川一乗 著
 法蔵館刊 (2004.3～)
 平均330頁



- ◎『大無量寿経講義－尊者阿難、座より起ち－』
 一楽真 著
 文栄堂刊 (2004.2) 277頁



- ◎『ゆるやかなカースト社会
 ・中世日本』
 大山喬平 著
 校倉書房刊 (2003.4) 448頁



- ◎『信の念仏者 親鸞』
 (日本の名僧シリーズ8)
 草野顕之 編
 吉川弘文館刊 (2004.2) 224頁

- ◎『仏教とキリスト教の対話Ⅱ』
 箕浦恵了 宮下晴輝
 マイケル・パイ 編
 大河内了義 箕浦恵了
 寺川俊昭 長谷正當 安富信哉
 宮下晴輝 木越康 分担執筆
 法蔵館刊 (2003.12) 310頁

- ◎『仏教とキリスト教の対話Ⅲ』
 箕浦恵了 門脇健 他編
 寺川俊昭 大河内了義
 箕浦恵了 ロバート・F・ローズ
 宮下晴輝 安富信哉
 門脇健 木越康 村山保史
 吉田孝夫 分担執筆
 法蔵館刊 (2004.3) 296頁

- ◎『掘る・読む・あるく 本願寺
 と山科二千年』
 山科本願寺・寺内町研究会 編
 草野顕之 大桑齊 分担執筆
 法蔵館刊 (2003.4) 256頁

- ◎『日本仏教34の鍵』
 草野顕之 分担執筆
 春秋社刊 (2003.5) 312頁

- ◎『史料にみる近江八坂善敬寺史』
 同朋大学仏教研究所内八坂善敬
 寺史調査研究会 編
 安藤弥 分担執筆
 彦根市八坂善敬寺 大照敏刊
 (2003.10) 119頁

- ◎『週刊朝日百科 仏教を歩く
 蓮如』
 草野顕之 分担執筆
 朝日新聞社刊 (2003.12) 32頁

- ◎『日本史文献事典』
 大桑齊 分担執筆
 弘文堂刊 (2003.12) 1688頁

- ◎『日本浄土教の形成と展開』
 浅井成海 編
 小野蓮明 分担執筆
 法蔵館刊 (2004.1) 594頁

- ◎図録『大谷大学博物館開館記念
 特別展 古典籍の魅力 大谷大
 学の名品』
 草野顕之 平野寿則 宮崎健司
 ロバート・F・ローズ
 上林直子 (学芸員)
 頼あき (嘱託学芸員)
 分担執筆・翻訳
 大谷大学博物館刊
 (2003.10) 70頁

- ◎図録『企画展 よみがえる上宮
 寺の宝物』
 安藤弥 分担執筆
 安城市歴史博物館刊
 (2003.11) 72頁

国際交流トピックス

一度は海外で学んでみませんか？

2004年度

国際交流科目〈海外研修〉のお知らせ

教務部

今年度の国際交流科目を次の通り開講します。履修希望者は『履修要項』『授業概要』を読んだうえで、4月のオリエンテーション期間に開催される「国際交流科目（海外語学・文化研修）説明会」に必ず出席し、予備登録をして下さい。履修希望者多数の場合は選考になります。なお、国際情勢によっては、皆さんの安全確保のため中止にすることや、現地事情により日程他を変更することもありますので、留意してください。

海外語学研修

短期中国語研修

中国首都師範大学短期中国語研修（中国文化事情3・実践中国語3）

首都師範大学は北京市中心部の西にあります。立地条件から言えば申し分がありません。授業は平日の午前中、現地大学の先生により全て中国語で「会話」、「閲読」、「発音矯正」を中心に実施する予定です。午後は「中国文化講座」（書道、中国民族音楽、太極拳）などのほかに、自由に過ごす日もあります。4週間北京に滞在しますが、週末の小旅行は万里の長城、明の十三陵、故宮博物館、承德などに出かけ、楽しみいっぱいです。

現地研修 8月1日(日)
～8月29日(日)予定
定員 30名
費用 23万円予定
滞在 大学寮



首都師範大学キャンパス内 図書館



※2004年3月1日に中国首都師範大学での短期語学研修についての、協定の調印が行われました。

短期英語研修

英国ノッティンガム大学（イギリス文化研究・実践英語（英））

ノッティンガムは、ロンドンから北へ約200キロのところにある緑豊かな地方都市です。週15時間の現地スタッフによる語学の授業に加え、イギリスの文化及び文学について学ぶ授業やコンピューターを使っ

ての授業なども組み込まれる予定です。週末にはロレンスの生家を見学したり、スコットランドフォードやヨークなどへも小旅行に出かけます。

3週間の研修の後は、ロンドンに4泊し、自由行動で市内を観光します。

現地研修 8月6日(金)
～9月2日(木)予定
定員 30名
費用 50万円予定
滞在 大学寮、ホテル

短期韓国語研修

韓国東西大學校短期韓国語研修（韓国文化研究・実践韓国語）

韓国最大の港町釜山にある東西大學校において午前中はハングル語の授業、午後からは韓国文化にふれる韓紙工芸、陶磁器工芸、韓国舞踊などを体験学習します。東西大學生との交流も予定されています。約3週間の大學での研修終

了後は韓国の古代と現代を訪ねて木浦、扶余などを巡り、首都ソウルに至ります。

現地研修 8月1日(日)
～8月26日(木)予定
定員 30名
費用 25万円予定
滞在 大学寮、ホテル

海外文化研修

インド仏教遺跡研修（インドの宗教と文化）

仏教を生み出したインドの大地に足を踏み入れ、2500年前に釈尊が悟り至った境地を思い巡らすことを目的とした研修です。釈尊生誕の地ルンビニー、悟りの地ブッダガヤー、初転法輪の地サルナート、涅槃の地クシーナガラという仏教の四大聖地をはじめ、祇園精舎、王舎城、ヴァイシャリーなどの仏跡、さらに、ガンジス河のガートで知られるヒンドゥー教の聖地バナレス、世界遺産タージ・マハル廟を擁するムガル帝国の古都アグラも訪れます。

現地研修 ①班
8月29日(日)～
9月11日(土)予定
②班
9月5日(日)～
9月18日(土)予定
定員 各班40名
(内科目等履修生5名)
費用 30万円予定
滞在 ホテル



祇園精舎ガンダクティ(釈尊のおられたところ)での感話風景(2003年度)

ヨーロッパ文化研修<ドイツ>（ヨーロッパの宗教と文化）

ドイツ語文化圏に焦点をあてて、その風土・歴史・言語・宗教・芸術・社会などにさまざまな角度から直接かつ具体的に触れることを目的とした研修です。この体験学習を通して自分の精神世界をより豊かに広げてください。今年度はドイツからチェコ、ハンガリー、オーストリアの文化的主要都市をめぐる予定です。

現地研修 8月25日(水)
～9月6日(月)予定
定員 30名
費用 32万円予定
滞在 ホテル



コーブルクの城内にて(2002年度)

自転車・バイクによる通学について

通学に自転車やバイクを使用する人は以下の事に注意してください。なお自家用車による通学は禁止されています。

バイク等は体育館北側のバイク置き場に、自転車はキャンパス西側の指定された自転車置き場に駐輪してください。

○自転車・バイクを学内に駐輪するためには登録シールの貼り付けが必要です。登録シールは入学時に学生証と同時に配布しています。登録シールは卒業まで使用します。紛失した場合は、学生課まで申し出てください。登録シールが貼り付けられていない自転車・

バイクは入構を断る場合があります。

○自転車・バイクは通学のみで使用し、大学に置いたままにしないでください。長期間放置してある自転車・バイクは処分します。

悪質商法に注意

近年、大学や大学の担当者（偽名）を偽っての教材購買など悪質な物品販売や強引な入会勧誘によるトラブルが多発しています。アンケートに答えてくださいと声をかけ、営業所に連れて行き、強引に商品（化粧品など）を購入させるキャッチセールス商法や、格安の旅行ができるメンバーにあなたが選ばれましたなどと電話で事業所に呼び出し、会員権などを契約させるアポイントメント商法などです。繁華街でのアンケートや電話での勧誘には特に注意しましょう。また、資格取得（士）商法・

マルチ商法や自己啓発（性格改造）商法などにも注意しましょう。

いずれも販売員が言葉巧みに勧誘し、執拗に説得するため、その場で契約してしまい、後日解約を申し出ても応じてもらえないといったトラブルです。

万一、契約してしまっても、一定期間内であれば解約できるクーリング・オフ制度がありますので、被害を受けた場合は、すみやかに学生課または市民生活センターに相談してください。

【クーリング・オフ制度】

訪問販売で購入契約した場合「訪問販売法」で指定された商品やサービスについて、8日以内（マルチ商法では20日以内）に申し込みの撤回または契約の解除通知をすれば、無条件で売買を白紙に戻すことができる制度です。契約解除の通知は必ず書面（内容証明郵便が少なくとも配達記録郵便。下記参照）で出さなければなりません。また、クーリング・オフができない場合もありますので、詳しくは学生課または市民生活センターにお尋ねください。

《内容証明郵便物の書き方例》

契約解除通知
左記の契約は解除します。
記

- 一 契約年月日
- 二 商品名
- 三 契約金額
- 四 締結場所

なお、支払額の〇〇円を返金し
商品を引き取ってください。
〇年〇月〇日

所在地
〇〇販売株式会社
代表取締役〇〇〇殿

住所
氏名

①

- 内容証明郵便の用紙は、文具店で販売しています。
- 3枚作成して、郵便局（集配局）の窓口へ。
- 印鑑も忘れずに。

《配達記録郵便（はがき）の書き方例》

郵便はがき

〇 〇 〇 〇 〇 〇

株式会社御中

申込（契約）年月日
販売会社名
商品名及び金額
担当者名
右記日付の申込を撤回（又
は契約を解除）します。
〇年〇月〇日
住所
氏名

〔おもて〕

〔う ら〕

- はがきの内容をコピーし、配達記録郵便の受領書と一しょに保管しましょう。

京都市市民生活センター

〒604-8186

京都市中京区烏丸御池東南角

アーバネックス御池ビル

西館4階

☎ (075) 256-0800

URL: <http://www.city.kyoto.jp/bunshi/soudan/index.html>

相談受付時間

午前9時～正午

午後1時～午後4時

休館日

土曜日・日曜日・祝日

年末・年始

盗難に注意

学年初めは何かと慌ただしく、ついうっかりとしてカバンなどを置いて席を離れることがありますか。

毎年、大切なカバンや貴重品の盗難にあうことがよく起こります。特に、食堂・図書館・教室など混雑する所では注意してくださ

い。自分の持ち物はしっかりと管理しましょう。万一、学内で盗難にあった場合、すみやかに学生課へ届けるとともに、キャッシュカード・クレジットカード・携帯電話などはすぐに取引停止の手続きを行い、警察へも届けてください。

また、大学近辺の路上で、自転

車に乗っていて自転車の前かごからカバンを盗られるという引ったくり事件が多発しています。かごに防犯ネットを被せたり、カバンを前かごに固定するなどして防犯対策を心がけてください。

学内・通学中などにケガをしたら

本学の全学生は「学生教育研究災害傷害保険」に加入しています。この保険は、正課授業や課外活動中（試合や合宿を含む）および通学中に負傷し、定められた日数（正課授業で4日、通学中で7日、課外活動で14日）以上にわたり治療を要した場合に保険金が支払わ

れます。またキャンパス内での休憩時間中の事故や講義に行く途中に階段を踏み外して捻挫した場合、大学行事に参加していて負傷した場合なども対象となります。

この保険は事故発生から30日以内に大学から事故通知書類を提出する必要があります。事故が発生

した場合は、直ちに保健室へ届け出てください。また、授業中のケガは、授業担当教員に必ず報告してください。

詳しい内容のパンフレットは保健室に置いています。

定期健康診断の実施について

オリエンテーション期間中、4月7日(水)・8日(木)に定期健康診断を実施します。詳細については保健室掲示板、学生課掲示板および受診案内で確認し、指定された日時に必ず全員受診してください。

健康診断は受診するだけでなく、後のフォローが大切です。受診後、再検査が必要な人は保健室

および学生課の掲示板で呼び出しますので、すみやかに保健室に来て下さい。また、教育実習や諸資格取得希望者、就職活動をする学生は、活動時に「健康診断証明書」が必要となります。証明書は健康診断を受けないと発行できませんので必ず受診してください。

校医による健康相談

博綜館1階に保健室があります。保健室では保健師が常勤しています。また、校医による健康相談を毎週水曜日午前10時30分から午後12時30分の間、婦人科校医による健康相談を第2・第4木曜日午後12時から午後2時の間に行っています。気軽に相談に来て下さい。

学生相談室

博綜館1階の学生相談室では、在学生の悩みや不安の相談に応じています。学業に対する不安、人間関係にまつわる不安、将来の進路に関する不安などひとりで悩まずに、学生相談室のドアをノックしてください。学生相談室ではカウンセラーがあなたの来室を待っています。

利用の方法は直接来室するか、または直通電話（075-411-8121）を利用して下さい。なお、相談内容は厳密に守秘されます。

また、神経科校医による医療相談を行っています。他人の視線が気になる、イライラが続いている、拒食・過食を繰り返しているなどで困っている方は、毎月第2・第

4水曜日午後（1時～4時）に学生相談室に相談してください。

教 務 部

聴講登録について

文学部・短期大学部・大学院、全学年とも4月に前期・後期・集中・通年を含めて1年間の全科目を一括登録します。詳細については『履修要項』を参照してください。

登録書類は記入に間違いのないことを確認の上、後述の期限を厳守してください。

なお、科目によってはオリエンテーション期間中に、説明会、受講科目・クラスの選択・抽選を行うものや、第1回目の授業で抽選を行うものがありますので、各自配布された登録関係書類で日程や手続方法を確認してください。

集中講義の受講に関しては、開講日程を時間割表などで確認し、

開講日・時限に重複のないよう注意してください。

記

[聴講登録期間]

○4月15日(木)～19日(月)

3日間とも午前9時～

午後4時30分

提出先：教務部

コンピューター処理上、上記の提出期限に遅れると登録ができなくなります。

[登録確認]

●「聴講登録確認表」配布日

5月6日(木)午前10時～

午後4時30分

配布場所：講堂1階ホワイエ

●登録修正期間

5月6日(木)・7日(金)

2日間とも午前10時～

午後4時30分

(この期間外の修正はできません)

修正窓口：教務部

各自「聴講登録確認表」を受領し、全科目が間違いなく打ち出されているか確認の上、

①修正の必要のない場合は、各自で1年間保管してください。

②修正が必要な場合は、教務部まで申し出てください。

*修正時の窓口は混雑し、大変時間がかかります。修正の必要が無いように登録してください。

財 務 課

2004年度 前期学生納付金(学費)の納入について

納入期限は4月20日(火)―締切日厳守―です。

前期学生納付金の納入期限は4月20日(火)〈銀行受付日付有効・納入期日厳守〉です。

納入期限までに納入のない場合は、学則により除籍となりますので注意してください。振込依頼書は、保証人宛に3月31日に大学より発送しています。

4月7日頃になっても振込依頼

書が届かない場合、紛失、破損した場合には再発行いたしますので、財務課まで申し出てください。

事情により期限内納入が困難と予測される場合には、学生課にて学費延納の手続きを4月20日(火)までに行ってください。学費延納手続きには、「学費延納許可願(所定用紙)」および学費負担者の所

得証明書(納税証明書・源泉徴収票等)が必要です。

なお、後期学生納付金の納入期限は9月30日(木)です。後期学生納付金の振込依頼書については、8月31日に大学より発送いたします。

図 書 館

延滞に伴う貸出・予約停止の処置について

2002年4月に響流館内に図書館が開館して2年が経過しました。旧図書館時代に比べて利用者が増加しましたが、その反面、又貸しや館外借覧図書のリターン期限を守らない利用者が増加しています。

この事態に対処するため、2004年1月16日より、「大谷大学図書館規程 第6章 弁償、罰則規定」

に則り、返却期限を守らない利用者に対しペナルティを科すことになりました。延滞した日数に相当する期間、貸出・予約停止の処置をとりますので、ルールを守って利用してください。

なお、当該図書を引き続き利用したい場合には延長も可能(条件：他の利用者からの予約がない

こと、他に延滞資料がないこと、貸出停止期間でないこと)ですので、必ず期限内に図書館カウンターにて手続きをしてください。

図書館の図書・資料は、利用者共有の財産です。返却期限に遅れることにより、他の利用者の不利益となります。利用者の皆様の自覚とご協力をお願いいたします。

進路就職センター

第1学年からのサービス紹介 ～キャリア形成を考える～

～資格取得を目指そう～

◎秘書技能検定対策講習

社会人となってから必要とされるビジネスマナーを、基本から応用まで幅広く学ぶ。

注：準1級は「ビジネスマナー講習の受講経験のある方」もしくは「秘書技能検定2級を取得している方」を対象とします。

*次回秘書技能検定試験は6月26日(土)実施予定です(要別途申込)。

秘書技能検定対策講習(2級) 第1回

日程	時間	定員	受講料	テキスト代	受付期間
5月 12, 17, 19 24, 26, 31	17:50~20:00	70	3,000	学内書店にて購入	4/19~4/23 (~17:00)
6月 2, 7, 9, 14 16, 21, 23					

秘書技能検定対策講習(準1級)

日程	時間	定員	受講料	テキスト代	受付期間
5月 6, 13, 20, 27	17:50~20:00	10	5,000	学内書店にて購入	4/19~4/23 (~17:00)
6月 3, 10, 17, 24					
7月 1, 8, 12, 15					

◎TOEICレベルアップ講習 第1回

企業が注目する600点の取得を目標として、今回は上級レベル(600点)のヒアリングを中心とした対策講習を開講します。上級は電話での英会話に困らないレベルの方対象です。

TOEICレベルアップ講習 第1回

日程	時間	定員	受講料	テキスト代	受付期間
5月 13, 17, 20 24, 27, 31	18:00~20:00	20	15,000	学内書店にて購入	4/19~4/23 (~17:00)
6月 3, 7, 10, 14 17, 21, 24, 28					
7月 1, 5, 8					

◎マイクロソフトオフィススペシャリスト

(Word・Excel) 対策講習 第1回

仕事をする上でもっとも使用されているWord・Excelについての講習です。また別途申込にてマイクロソフトオフィススペシャリスト検定試験も受験していただけます。

マイクロソフトオフィススペシャリスト対策講習 第1回

日程	時間	定員	受講料	テキスト代	受付期間
4月 13, 20, 27	16:10~19:20	30	5,000	学内書店にて購入	4/8~4/9 (~17:00)
5月 11, 18, 25					
6月 1, 8, 15, 22, 29					
7月 6					

◎初級システムアドミニストレータ対策講習

ここ数年急速に普及したコンピューターに対応するために設けられた一般ユーザを対象とした国家試験対策です。

*国家試験日10月17日(日)(要別途申込)

初級システムアドミニストレータ対策講習

日程	時間	定員	受講料	テキスト代	受付期間
5月 8, 15, 22, 29	10:00~14:00	30	25,000	受講料に含む	4/19~4/23 (~17:00)
6月 5, 12, 19, 26					
7月 3, 10, 17					
8月 2, 3, 4, 5, 6					
9月 11, 18, 25					
10月 2, 9					

～難関試験に早期から備えよう～

◎公務員受験特別講習 直前講座

公務員希望者を対象に、今年度採用試験直前の受験対策講習を開講します。

今回の講習は、一般知識・一般知能分野で大卒レベルから地方上級レベルの対策となります。受講の学年は問いません。

公務員受験特別講習

日程	時間	定員	受講料	テキスト代	受付期間
4月 21, 23, 28	17:50~19:20	50	4,000	受講料に含む	4/12~4/16 (~17:00)
5月 7, 12, 14, 19 21, 26, 28					
6月 2, 4, 9, 11, 16					

※その他「表現力スキルアップ講習」なども実施しています。
表現力スキルアップ講習の説明会:4月14日(水)

●日程、時間、受講料等については予定です。実施要項や掲示等に注意してください。

谷大エリア散策

第15回 至成堂書店さん（学術洋書店）

大学から2軒南隣の至成堂書店さんは、日本でも有数の、思想関係では1番の学術洋書専門店です。会長の堀秀光さん、代表取締役の菅浦達朗さん、営業部長の林紀夫さんにお話を伺いました。



至成堂書店外観

—お店はいつ頃からですか

昭和23年、ここから少し離れた場所です。書店を始めました。当初は古書を扱っていましたが、昭和31年から洋書の新刊の輸入・販売を始めました。哲学、宗教、文学、芸術、社会思想など、広い意味で人間の思想の歴史といえる分野の学術書を主に扱っています。ヨーロッパを中心に、ドイツ、フランス、イギリス等の書物が多いですが、最近はアメリカの書物も結構増えてきました。会長はドイツ文化の普及に深く貢献したとして、平成9年にドイツ連邦共和国功労十字章を、また同じような理由で平成12年にフランス政府より芸術文学勲章を受勲しました。

戦後は洋書の入手が大変困難で、それだけに価値が高かったのです。研究者は他のものを節約してでも本を買っていました。書物に対しての飢餓感もあったのでしょうか。大学の先生、大学院生、学生さん達が毎日のように来られて、良い本を置けば自然に売れていきました。本はとても貴重で、大切にされました。1冊の価値が今とは全く違いましたね。

—この分野を専門にされた理由は

終戦後、それまでの価値観が一変し、これからの時代は何事も自分で判断していかなければならないと感じました。人

間の思想が社会の基礎理論、価値観を形成していくわけですから、思想や哲学という分野に関心を抱き、専門書を集めました。

—大学が多い京都では学術書の需要も多いのでしょうか

確かに多いですが、北海道から沖縄まで、全国の大学の研究室や図書館と取引しています。他府県の先生方が学会の際に寄って下さったり、出張して2～3日通って下さることもあります。京都で学生時代を送った方々が先生になられて、地方の大学へ赴任されてからも、うちへ注文を頂くことが多いのです。大学事務局は地元の書店で済ませたいのに「この本は至成堂でなければ」と言ってわざわざうちで買って下さいます。大変ありがたいことです。先生方との、言葉では表現できない人間的なつながりかとも強いと思います。

—大谷大学との付き合いは

大谷大学さんとは昔から取引させて頂いています。今でもゼミでテキストを指定して購入して頂いています。大谷の学生さんが恵まれていると思うのは、きちんと本そのものをテキストにされていること。他大学はテキストすら部分コピーで済ませている所が多いのです。必要とする箇所だけでなく、余分と思える所から発見があったりしますから、一部ではなく1冊の本を手に入るのは良いことですよ。

—書店の仕事について

返品制度がない洋書は、できるだけ在庫を持たずに注文を受けたものを外注して納入するのが一般的ですが、選択された学術書の在庫に力を入れています。常時数万冊あります。在庫を持つと経営的には大変苦しいのですが、良い本を常に置いて実際に見て頂きたいのです。日本ではうちにしか置いていない本もあります。目的の本よりも、偶然手に取った本が思わぬ役に立つことがあります。意外な視点から研究が広がったりするのです。

仕入れは地味で大変手間のいる仕事です。出版社の大量の資料の中から、こ

れは良いという本を見極めるのは経験と一種の勘です。勘の冴えはとても大切です。情報の提供も大事な仕事です。先生方に論文の参考になる本の紹介やアドバイスを求められたりしますので、常に情報を収集して勉強することが必要です。

苦労は大きくても、本との仕事は面白くて楽しいものです。本は生きていて感じます。買ってもらえるとの顔が変わるんですよ。必要とする人がいて初めて役に立つのですから、出会いは大切ですね。

—昔と変わったと思われることは

現代の問題を捉えるとき、現象のみに目を向けて、古典に学ぶことが少なくなりましたね。また目先の研究成果を追う傾向もあるように思います。目に見えないことに価値を見出すのが学問や芸術だと思うのですが。人間の思想そのものが目に見えないものですからね。

—インターネットの普及の影響はありますか

マクロ的には確かに影響があるといえます。書店を通さず個人で入手できるようになりましたから。ただ多くは一般向けの本でして、学術書は今のところまだ少ないです。

時事テーマによって売れる本が変わりますし、社会の変化に合わせて扱う本を変えていく必要があります。紙の媒体のみから電子出版物へと広がり、出版文化そのものも変化しています。時代に迎合することには疑問も感じますが、ニーズにこたえつつ、至成堂なりの価値観を形成していかなければと考えています。商売のみではなく、良い本を社会に提供していくという書籍人としての自覚を常に持ち続けたいと思います。

—ありがとうございました。



たくさん洋書がならぶ店内

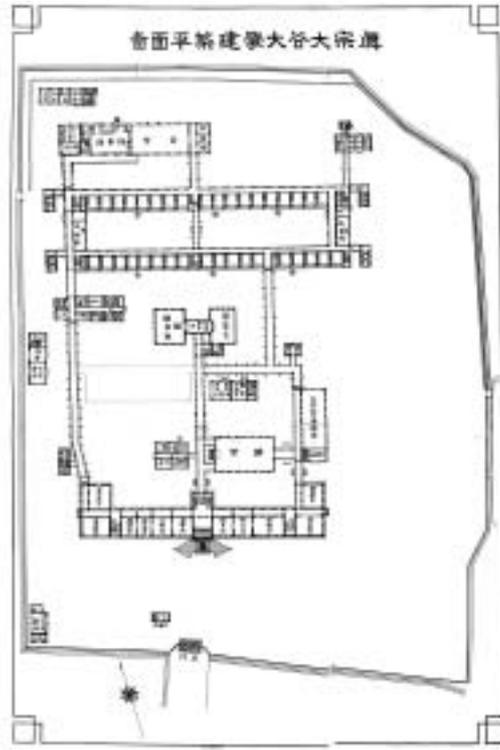
写真でふりかえる 大谷大学今昔



烏丸通の正門前を南下する市電（昭和40年代）



建設中の烏丸車庫から見た大正13年の大谷大学遠景



真宗大谷大学建築平面図

大正十三年の大谷大学遠景

佐々木 令 信

大正十四年（一九二五）、烏丸線の今出川以北の開通と同時に開設されたのが烏丸車庫であった。烏丸車庫は、路面電車である京都市電最大の車庫で、配置の車両の数は昭和四十二年（一九六七）には、烏丸線を始め南北の通りを担当したこともあって、一一五両と全車両の三分の一を誇っていた。

烏丸車庫付近は京都市北部の要所としてにぎわい、大谷大学の正門前を走っていたのは緑地に④とか⑥とか書かれた系統板の市電であった。

昭和五十三年（一九七八）市電が完全廃止される際、最後まで営業を続けた烏丸車庫の跡地はショッピングセンターとなり、地下には地下鉄北大路駅とバスターミナルが設けられた。

古い一枚の写真は、宇多小路豊氏の所蔵で、烏丸車庫の西隣に住んでいた父雄一氏が撮影したものである、という。大正十三年（一九二四）頃と推定されるもので、烏丸車庫開設の工事現場を通して北側から見た大谷大学の遠景が写っている。大谷大学の大正二年（一九一三）に竣工した赤煉瓦作りの本館（現・尋源館）の塔が、全寮制をうたった南寮や北寮の寄宿舎の屋根越しに見えている。「寄宿舎ハ二階建日本式建物、建坪五百四十六坪ニシテ（中略）各室ハ学生ノ自修室兼寢室ニシテ広サ十畳敷トシ、畳上ヨリ天井ニ至ル距離九尺トス、而テ南方縁側ニ面スル方ハ腰高紙障子四枚引違、縁側ニハ雨戸ヲ設ケ、各室ニ床二個所、押入戸棚三箇所アリ、コノ室敷総計七十三トス」と当時の大学要覧に記されている。一室に二人か三人の寮生がいた。舎監室は寮の西部にあり、そこをめぐってその西から、廊下がまっすぐに本館の西部に通じていた。当時の学長は佐々木月樵、教員には鈴木大拙、松本文三郎、西田幾多郎、朝永三十郎などの錚々たる名前を見る。

大谷大学が現在地に移った頃、大学の位置は室町頭と言われ、鞍馬口通り以北の大学周辺はほとんどが田んぼであった。大谷大学近辺に店がで始めるのは昭和の初期である。大正十二年（一九二三）の府立植物園開園や市電烏丸線の今出川以北の延長と、道路拡張工事の果たした役割は大きく、人々の生活環境や景観に変化をもたらすことになった。大正十四年十月市電烏丸線が今出川から北上するにあたって大谷大学の敷地は烏丸通りをはさんで二分され、現在の姿となった。

（写真） せいしん 教授 日本仏教史

大谷中学校・高等学校からのお知らせ

■2004年度の中学・高等学校の入試状況は、以下のような結果となりました。(高校は3月の下旬に入学者数が確定しますので、現時点では高校部の入学者数は未決定です)

中学部は、本年度はS1入試・A入試・S2入試と3回実施したため、志願者数は昨年度の444名から705名と大きく増加しましたが、入学者数は前年度より約30名ほど減少して119名の3クラスとなりそうです。この原因は、公立の中学・高校六カ年一貫校が、本年度から2校開校された影響が他私学に影響を与え、大谷中学もこの影響を受けたものと考えられます。

高校部は昨年度と志願者数はほぼ変わらず、2250名で、(昨年度は2246名)今年も京都府では一番の人気校でした。3月下旬に入学者数が確定しますが、中学のマイナス面をカバーできたらよいのだが、と考えています。

■学校見学会・オープンキャンパス&学校説明会について
本年度は従来のスタイルを若干変更して、一学期は下のようなスケジュールで計画しています。

※学校見学会 (2日間で実施)

5月28日(金) 午後1時～午後5時まで

5月29日(土) 午前9時～午後5時まで

※オープンキャンパス&学校説明会

8月1日(日) 午前9時30分～12時まで

内容

1. 中学部説明
バタバシステム、学校生活全般について
2. 高校部説明
バタバ・インテグラル両コースの特色や大谷高校の教育についてなど
3. 個人相談
4. 施設・クラブ活動見学

九州大谷短期大学からのお知らせ

□オープンキャンパス・入試相談会

2004年度のオープンキャンパス・入試相談会等を次の日程で行います。

◆オープンキャンパス

2004年

6/19(土)

7/17(土)

8/8(日)

9/11(土)

12:00～	受付開始
13:00～13:30	全体説明(学校概要・入試制度 etc.)
13:30～14:30	コース別模擬授業・説明
14:30～15:00	キャンパス・寮見学
15:00～15:30	個別相談・在学生とのフリートーク

個別相談コーナー設置

◆入試相談会

10/2(土)

12/4(土)

12:00～	受付開始
13:00～13:30	全体説明(学校概要・入試制度 etc.)
13:30～14:00	キャンパス・寮見学
14:00～15:00	コース別個人説明・相談

◆キャンパス見学会(大谷祭)

11/5(金)

臨時見学可

11/6(土)

臨時見学可

ご参加くださいますようお願いしております。

お問い合わせ

九州大谷短期大学広報室 (TEL. 0942-53-9900)

学生相談室から

学生の事故死を乗り越えて

讓 西賢



今年1月中旬、岐阜の私の本務大学の近くで、私が所属する学科の2年生の女子学生が、車にはねられた。彼女も受講していた私の授業終了30分後の午後6時半の事故であった。知らせを聞き病院へ私も駆けつけた。緊急手術を待つ間、私の隣には、駆けつけた被害学生の親御さん、数メートル先には、加害者の青年が親御さんと一緒に体を震わせ、交わすことばもなく、午前1時の手術終了まで、とてつもなく長く重苦しい時間であった。翌日未明、治療の甲斐なく、その学生は20年のあまりに短い生涯を閉じた。葬儀では、号泣のご遺族・参列学生、肩を落として参列の加害者の青年と親御さん、まさにこの世の地獄、目を背けたくなる現実であった。

姿に、恨みもあるが、人間の心の底力を感じた。号泣しながら、参列者に頭を下げられたご遺族に人間の心の柔軟さを感じた。奈落の底に落ちた人間の心は、強い。そして、優しい。

(ゆずり さいけん)

学生相談室の開室について

場 所	曜 日	相談室	学生相談員	相談日時
学生相談室 (博綜館1階)	月曜日	1	谷口奈青理	10時30分～16時00分
		2		
	火曜日	1	菊岡 千夏	10時30分～16時00分
		2		
	水曜日	1	宇佐 晋一 (神経科校医)	第2週・第4週 13時30分～16時00分
		2	佐賀枝夏文	10時30分～14時00分
木曜日	1	讓 西賢	10時30分～16時00分	
	2	菊岡 千夏		
金曜日	1	菊岡 千夏	10時30分～16時00分	
2				

「大谷大学広報04-夏」発行のお知らせ

「大谷大学広報04-夏」の発行を7月に予定しています。さまざまなエッセイや連絡事項などを掲載する予定です。ぜひお読みください。広報は次の場所に置いてありますので、ご自由にお取りください。

①博綜館プロテュー (博綜館入口横) ②学内食堂 ③各研究室 ④至誠館 (学生課カウンター前) ⑤1号館1階 ⑥2号館1階

お詫び

前号の『大谷大学広報冬号』の中で誤りがありましたので、次のとおり訂正いたします。

P.35 2004年度学年暦 (5月・7月のカレンダー日付)

・5月の第4週目木曜日 → 20

・7月の第5週目木曜日 → 29

2004年度 開放セミナーのご案内

○親鸞真筆『坂東本・教行信証』 ―その伝持・公開と研究の歴史に学ぶ―

日程及びテーマ

- 第1回 5月12日(水) 親鸞と『教行信証』
- 第2回 5月19日(水) 親鸞の門弟と「坂東本」
- 第3回 5月26日(水) 近世における「坂東本」
- 第4回 6月2日(水) 近代における「坂東本」
- 第5回 6月9日(水) 「坂東本」研究の課題と展望

講師 三木 彰円 (大谷大学短期大学部講師)

時間 17:50~19:20 受講料 5,000円 (税込)

申込締切日 5月6日(水) *当日消印有効



○『教行信証』の思想 ―無上仏道の開頭―

日程及びテーマ

- 第1回 6月16日(水) 『教行信証』の課題 ―真宗開頭―
- 第2回 6月23日(水) 本願と本願の機 ―回向する大悲―
- 第3回 6月30日(水) 本願の名号 ―無明の闇を破るもの―
- 第4回 7月7日(水) 大いなる目覚め ―無上涅槃証得の真因―
- 第5回 7月21日(水) 正定聚の機 ―大悲を行ずる人―

講師 小野 蓮明 (大谷大学教授)

時間 17:50~19:20 受講料 5,000円 (税込)

申込締切日 6月9日(水) *当日消印有効

○昔を今になすよしもがな ―『義経千本桜』の世界にあそぶ―

日程及びテーマ

- 第1回 5月6日(水) 人形浄瑠璃及び『義経千本桜』 概要
- 第2回 5月13日(水) 国もしづかゝ舞扇 ―堀川御所―
- 第3回 5月27日(水) 三途の海の瀬踏せん ―渡海屋―
- 第4回 6月3日(水) 娘の漬けた酢ならば ―すしや―
- 第5回 6月17日(水) 恋と忠義はいづれが重い ―道行初音旅―
- 第6回 6月24日(水) 源九郎義経 げんくろうぎつね ―河連法眼館―

講師 沙加戸 弘 (大谷大学教授)

時間 17:50~19:20 受講料 6,000円 (税込)

申込締切日 4月28日(水) *当日消印有効

○陰陽道と修験道 ―民間陰陽道と地方伝播―

日程及びテーマ

- 第1回 6月1日(火) 京都―平安朝の芦屋道満から明治期の市中陰陽師まで
- 第2回 6月8日(火) 福岡―鎌倉期から昭和期まで続いた太宰府天満宮「水瓶祈祷」
- 第3回 6月15日(火) 高知―今は有名になった陰陽道「いざなぎ流」
- 第4回 6月22日(火) 山口―地域の知られざる陰陽師
- 第5回 6月29日(火) 兵庫―『安谷家文書』に見る江戸時代の但馬陰陽道組織
- 第6回 7月6日(火) 富山―真宗寺院と山伏寺院の不思議な関係

講師 木場 明志 (大谷大学教授)

時間 17:50~19:20 受講料 6,000円 (税込)

申込締切日 5月25日(火) *当日消印有効

2004年度 紫明講座のご案内

○生きている能 ー薪能にその源をみるー

日程及びテーマ

第1回 5月6日(木) 薪能と舞台空間

第2回 5月13日(木) 『葵上』にみる能の変遷

講師：河村 晴久氏

(能楽師観世流シテ方 重要無形文化財「能楽」保持者)

第3回 5月20日(木) 面と能装束

講師 モニカ A. ベーテ (大谷大学教授)

時間 14:30~16:00 受講料 3,500円 (テキスト代、税込) テキスト『対話で楽しむ葵上』檜書店刊

申込締切日 4月28日(水) *当日消印有効

○熊野信仰の諸相 ー紀伊山地の自然と日本人の信仰ー

日程及びテーマ

第1回 5月10日(月) 熊野古道の魅力 ー世界遺産登録を前にしてー

ゲスト：山本殖生氏

(新宮市熊野学情報センター準備室室長・

熊野三山協議会幹事)

第2回 5月17日(月) 補陀洛山寺と補陀落信仰

ゲスト：根井 浄氏 (神戸常盤短期大学教授)

第3回 5月31日(月) 熊野信仰の諸相

講師 豊島 修 (大谷大学教授)

時間 17:50~19:20 受講料 3,000円 (税込)

申込締切日 4月28日(水) *当日消印有効

後援：新宮市 新宮市教育委員会

※この講座の受講者を対象に、フィールドワークを実施します。詳細については、お問合せください。

○地域で、子育て・子育てを支える ーすべての異世代間交流を視座にー

日程及びテーマ

第1回 5月21日(金) 子育て・子育て支援の必要性と特化の危うさ

ー見て見ぬ振り症候群激増の風潮を断つためにー

第2回 5月28日(金) 子育て・子育て支援の基底ー“いのち観” ー福祉文化の創造ー

第3回 6月4日(金) 地域機能の総合的再構築 ー点から面へ。線を担うものは誰かー

講師 大和 正克 (大谷大学短期大学部教授)

時間 17:50~19:20 受講料 3,000円 (税込)

申込締切日 5月14日(金) *当日消印有効

○やさしい哲学入門 ーいったい哲学は何を考えているのかー

日程及びテーマ

第1回 6月7日(月) 「私」

第2回 6月14日(月) 「真理」

第3回 6月21日(月) 「悪」

講師 門脇 健 (大谷大学教授)

時間 17:50~19:20 受講料 3,000円 (税込)

申込締切日 5月31日(月) *当日消印有効



2004年度 紫明講座のご案内

○タイ・ラオスの農村を歩く 一生き方の今をたずねてー

日程及びテーマ

- 第1回 7月1日(木) 多様な人々、変化する社会関係
- 第2回 7月8日(木) 牛・水牛と人々の関わりの変容
- 第3回 7月15日(木) 精霊を祀ること、仏教に帰依すること

講師 高井 康弘 (大谷大学教授)

時間 17:50~19:20 受講料 3,000円 (税込)

申込締切日 6月24日(木) *当日消印有効



○荘厳の京都学 ー散華の世界ー

日程及びテーマ

- 第1回 7月9日(金) 天台声明と散華
ゲスト: 木ノ下 寂俊氏 (妙法院門跡執事長) 他
- 第2回 7月16日(金) 散華を描く
ゲスト: 畠中 光亨氏 (日本画家・京都造形芸術大学教授)
- 第3回 7月23日(金) 散華の歴史とところ

講師 佐々木 令信 (大谷大学教授)

時間 18:30~20:00 受講料 3,000円 (税込)

申込締切日 7月2日(金) *当日消印有効

受講をご希望の方は、下記までお問い合わせください。FAX、Eメールにてお申込の際には、講座名、住所、氏名(フリガナ)、電話番号、性別、職業を明記してください。

お問合せ先

教育研究支援課K0係

TEL: 075-411-8161 FAX: 075-411-8162 E-mail: opensemi@sec.otani.ac.jp

*講座名・受講料等は変更になる場合があります。



2004年度 入学試験結果

一般入試 [第1期] 結果

●文学部 (3教科型)

学部	学 科	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	倍率	合格者得点	
							最高点	最低点
文学部	真宗学科	16	38 (2)	38 (2)	31 (2)	1.2	337	185
	仏教学科	14	44 (10)	44 (10)	30 (9)	1.5	338	220
	哲学科	14	73 (15)	69 (15)	41 (13)	1.7	361	260
	社会学科	35	321 (122)	316 (118)	102 (50)	3.1	352	290
	史学科	20	265 (92)	250 (89)	53 (21)	4.7	367	314
	文学科	14	132 (64)	130 (63)	43 (21)	3.0	350	301
	国際文化学科	20	133 (71)	130 (70)	91 (51)	1.4	357	260
	人文情報学科	20	85 (26)	85 (26)	60 (25)	1.4	337	232
	合 計	153	1,091 (402)	1,062 (393)	451 (192)	—	—	—

●文学部 (2教科型) ・短期大学部

学部	学 科	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	倍率	合格者得点	
							最高点	最低点
文学部	真宗学科	16	50 (8)	49 (8)	32 (5)	1.5	159	100
	仏教学科	14	58 (18)	58 (18)	31 (15)	1.9	161	102
	哲学科	14	96 (29)	92 (28)	40 (15)	2.3	166	122
	社会学科	25	355 (143)	343 (139)	62 (44)	5.5	175	138
	史学科	8	105 (39)	102 (39)	19 (9)	5.4	172	139
	文学科	14	142 (79)	137 (77)	33 (26)	4.2	167	135
	国際文化学科	20	174 (119)	167 (114)	82 (62)	2.0	166	127
	人文情報学科	20	182 (37)	177 (34)	66 (21)	2.7	157	115
	合 計	131	1,162 (472)	1,125 (457)	365 (197)	—	—	—
	短期大学部	仏教科 [第2志望]	10	38 (12)	37 (12)	35 (12)	1.1	157
文化学科 [第2志望]		30	113 (78)	110 (75)	63 (53)	1.7	166	120
幼児教育科 [第2志望]		25	213 (167)	202 (158)	36 (34)	5.6	170	155
合 計		65	364 (257)	349 (245)	134 (99)	—	—	—
合 計		—	—	—	18 (14)	—	—	—

[注1] () 内数字は女子内数。

[注2] 文学部3教科型は400点満点・文学部2教科型と短期大学部は200点満点。

一般入試 [第2期] 結果

学部	学 科	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	倍率	合格者得点	
							最高点	最低点
文学部	真宗学科 [第2志望]	4	15 (2)	12 (2)	6 (1)	2.0	74	62
	仏教学科 [第2志望]	4	16 (3)	16 (3)	6 (2)	2.7	92	66
	哲学科	4	58 (20)	57 (20)	8 (4)	7.1	90	74
	社会学科	8	127 (40)	123 (39)	46 (16)	2.7	77	61
	史学科	4	79 (20)	75 (19)	21 (11)	3.6	84	70
	文学科	4	80 (39)	79 (38)	27 (17)	2.9	90	71
	国際文化学科	5	76 (35)	75 (34)	11 (7)	6.8	83	70
	人文情報学科	5	47 (14)	46 (14)	6 (2)	7.7	74	68
	合 計	38	498 (173)	483 (169)	131 (60)	—	—	—
	短期大学部	合 計	—	—	—	2 (0)	—	—
短期大学部	仏教科 [第2志望]	5	9 (2)	9 (2)	8 (2)	1.1	77	57
	文化学科 [第2志望]	10	40 (31)	40 (31)	26 (20)	1.5	87	70
	合 計	15	49 (33)	49 (33)	34 (22)	—	—	—
	合 計	—	—	—	6 (5)	—	—	—

[注1] () 内数字は女子内数。

[注2] 得点は外国語・国語のいずれか1教科試験場で選択で100点満点。

一般入試 [大学入試センター試験利用入試] 結果

学部	学 科	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	倍率	合格者得点	
							最高点	最低点
文学部	真宗学科	4	52 (8)	52 (8)	19 (1)	2.7	548	378
	仏教学科	4	48 (14)	48 (14)	21 (6)	2.3	532	344
	哲学科	4	78 (30)	78 (30)	21 (10)	3.7	507	401
	社会学科	8	207 (95)	207 (95)	27 (14)	7.7	480	402
	史学科	4	189 (79)	188 (79)	19 (7)	9.9	532	440
	文学科	4	124 (76)	124 (76)	28 (20)	4.4	496	408
	国際文化学科	5	97 (60)	97 (60)	28 (22)	3.5	468	380
	人文情報学科	5	97 (36)	97 (36)	21 (13)	4.6	448	362
	合 計	38	892 (398)	891 (398)	184 (93)	—	—	—

[注1] () 内数字は女子内数。

[注2] 「外国語」「国語」「地歴・公民・数学 (選択)」の3教科・3科目各200点の600点満点。「地歴・公民・数学 (選択)」の得点は、大学入試センター試験の得点を200点満点に換算。「地歴」「公民」「数学」で2教科2科目以上受験した場合、高得点の教科・科目で判定。

[注3] 受験生の前年度大学入試センター試験の成績による判定は行わない。

[注4] 大学入試センター試験利用入試は、文学部のみ実施。

文学部第3学年編入学試験結果

学 科	専門分野	区分	志願者数	受験者数	合格者数	倍率
真 宗	真 宗 学	学内	7 (0)	7 (0)	7 (0)	1.2
		学外	4 (0)	4 (0)	2 (0)	
仏 教	仏 教 学	学内	3 (0)	3 (0)	3 (0)	1.0
		学外	1 (0)	1 (0)	1 (0)	
哲 学	西 洋 哲 学	学内	0 (0)	0 (0)	0 (0)	—
		学外	0 (0)	0 (0)	0 (0)	
	倫 理 学	学内	0 (0)	0 (0)	0 (0)	—
		学外	0 (0)	0 (0)	0 (0)	
	宗 教 学	学内	0 (0)	0 (0)	0 (0)	—
		学外	0 (0)	0 (0)	0 (0)	
教 育 学	学内	0 (0)	0 (0)	0 (0)	—	
	学外	0 (0)	0 (0)	0 (0)		
社 会	現 代 社 会 学	学内	2 (0)	2 (0)	0 (0)	—
		学外	0 (0)	0 (0)	0 (0)	
史	文 化 人 類 学	学内	1 (0)	1 (0)	0 (0)	—
		学外	0 (0)	0 (0)	0 (0)	
文 学	国 史 学	学内	0 (0)	0 (0)	0 (0)	—
		学外	0 (0)	0 (0)	0 (0)	
	日 本 仏 教 史 学	学内	0 (0)	0 (0)	0 (0)	—
		学外	0 (0)	0 (0)	0 (0)	
	東 洋 史 学	学内	0 (0)	0 (0)	0 (0)	—
		学外	0 (0)	0 (0)	0 (0)	
東 洋 仏 教 史 学	学内	0 (0)	0 (0)	0 (0)	—	
	学外	0 (0)	0 (0)	0 (0)		
国 文 学	国 文 学	学内	2 (1)	2 (1)	0 (0)	—
		学外	0 (0)	0 (0)	0 (0)	
	中 国 文 学	学内	0 (0)	0 (0)	0 (0)	—
		学外	0 (0)	0 (0)	0 (0)	
英 文 学	学内	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1.0	
	学外	2 (2)	2 (2)	2 (2)		
ド イ ツ 文 学	学内	0 (0)	0 (0)	0 (0)	—	
	学外	0 (0)	0 (0)	0 (0)		
国際文化	国際文化学	学内	2 (0)	2 (0)	0 (0)	2.0
		学外	2 (0)	2 (0)	2 (0)	
合 計	学内	計	17 (1)	17 (1)	10 (0)	—
		学外	9 (2)	9 (2)	7 (2)	
			26 (3)	26 (3)	17 (2)	

[注1] () 内数字は女子内数。

[注2] 倍率は、受験者数を合格者数で除したもの。

【合格者 (学外出身者)】

各1名 富山大学・淑徳大学・奈良大学・愛知新城大谷短期大学・京都光華女子大学短期大学部
2名 関西外国語大学短期大学部

大学院春季試験 (博士後期・修士) 結果

課程	専 攻	募集人員	区分	志願者数	受験者数	合格者数	倍率
博士後期課程	真 宗 学	3	学内	8 (0)	8 (0)	6 (0)	1.3
			学外	0 (0)	0 (0)	0 (0)	
	仏 教 学	3	学内	6 (3)	6 (3)	1 (0)	6.0
			学外	0 (0)	0 (0)	0 (0)	
	哲 学	3	学内	4 (1)	4 (1)	2 (0)	1.7
			学外	1 (0)	1 (0)	1 (0)	
	社 会 学	3	学内	1 (1)	1 (1)	1 (1)	1.0
			学外	0 (0)	0 (0)	0 (0)	
	仏 教 文 化	3	学内	5 (2)	5 (2)	5 (2)	1.0
			学外	0 (0)	0 (0)	0 (0)	
国 際 文 化	3	学内	1 (1)	1 (1)	1 (1)	1.0	
		学外	1 (0)	1 (0)	1 (0)		
合 計	18	学内	25 (8)	25 (8)	16 (4)	—	
		学外	2 (0)	2 (0)	2 (0)		
			計	27 (8)	27 (8)	18 (4)	
修士課程	真 宗 学	定員(20)の50%程度	学内	16 (4)	16 (4)	8 (0)	2.0
			学外	8 (1)	6 (1)	3 (1)	
	仏 教 学	定員(20)の50%程度	学内	3 (1)	3 (1)	2 (1)	1.3
			学外	2 (0)	2 (0)	2 (0)	
	哲 学	定員(10)の50%程度	学内	1 (0)	0 (0)	0 (0)	2.0
			学外	2 (0)	2 (0)	1 (0)	
	社 会 学	定員(10)の50%程度	学内	1 (0)	1 (0)	0 (0)	—
			学外	0 (0)	0 (0)	0 (0)	
	仏 教 文 化	定員(20)の50%程度	学内	2 (0)	2 (0)	2 (0)	1.2
			学外	4 (1)	4 (1)	3 (1)	
国 際 文 化	定員(10)の50%程度	学内	1 (1)	1 (1)	1 (1)	1.0	
		学外	1 (0)	1 (0)	1 (0)		
合 計	定員(90)の50%程度	学内	24 (6)	23 (6)	13 (2)	—	
		学外	17 (2)	15 (2)	10 (2)		
			計	41 (8)	38 (8)	23 (4)	

[注1] () 内数字は女子内数。

[注2] 倍率は、受験者数を合格者数で除したもの。

【合格者 (学外出身者)】

【春季試験】

◆ [博士後期課程]

各1名 シカゴ大学大学院・龍谷大学大学院

◆ [修士課程]

各1名 大阪府立大学・滋賀県立大学・岐阜聖徳学園大学大学院

京都ノートルダム女子大学・慶應義塾大学・中央大学・立命館大学

3名 龍谷大学

《教員研究室一覧表》

博 綜 館		
階	部屋番号	教員名
2F	211	佐藤義寛
	212	鈴木繁一
	213	乾源俊
	214	若槻俊秀
	215	友田孝興
	216	石橋義秀
	217	沙加戸弘
	218	村瀬順子
	219	村井英雄
	220	米本義孝
3F	311	
	312	草野顕之
	313	皇紀夫子
	314	加藤尚子
	315	豊島修
	316	長谷正當
	317	田辺繁治
	318	
	319	木場明志
	320	佐々木令信
4F	411	松村尚子
	412	一郷正道
	413	荒牧典俊
	414	高井康弘
	415	門脇健彦
	416	蜂屋良彦
	417	間庭充幸
	418	池上哲司
	419	須藤訓任
	420	滝口直子
5F	421	鈴木幹雄
	441	寺林脩
	442	佐賀枝夏文
	511	宮下晴輝
	512	安富信哉
	513	兵藤一夫
	514	村上學
	515	延塚知道
	516	神戸和麿
	517	木村宣彰
	518	吉元信行
	519	白館戒雲
	520	福田洋一
	521	塚田秀雄
	522	M. A. ベーテ
523	小谷信千代	
541	小野蓮明	
542	藤嶽明信	
543	R. F. コーズ	
544	泉惠機	
545	織田顕祐	

聞 思 館		
階	部屋番号	教員名
1F	10	谷口奈青理
	11	山野俊郎
	12	宮崎健司
	13	安井喜行之
	14	加来雄之
	15	村山保史
	16	村松法文
	17	大城那義
	18	一楽真
	19	木越康
2F	20	天野勝重
	21	杉山正治
	22	加治洋一
	23	柴田みゆき
	24	番場寛
	25	水島見一
	26	三宅伸一郎
	27	赤瀬知子
	28	田村晃徳
	29	李青
3F	30	片岡裕
	31	中森一郎
	32	徳岡博巳
	40	井上摩紀
	41	関口敏美
	42	山本貴子
	43	松川節
	44	藤堂貴弘
	45	吉田孝夫
	46	禿憲仁
4F	47	渡部洋
	48	矢野のり子
	49	廣瀬幸市
	50	鄭早苗
	51	山本和彦
	52	采翠晃
	60	D. ヴェステル
	61	東館紹見
	62	平野寿則
	63	三木彰円
64	井上尚実	
65	浅若裕彦	
66	芦津かおり	
67	山下憲昭	
68	浦山あゆみ	
69	浅見直一郎	
70	渡辺啓真	
71	A. デッケ=コルニル	
72	桂華淳祥	

2 号 館		
階	部屋番号	教員名
1F	101	一色順心
	102	中川皓三郎
	103	藤本芳則
	104	藤田昭彦
	105	築山修道
3F	106	豊住征子
BF	107	岡崎紀子

近年、プロスポーツの世界において国際的な活躍をする日本人アスリートの数が増えてきたように思われる。また、昨年は、柔道、水泳・女子レスリング、陸上などの世界選手権大会で、日本人アスリート達が際立った成績を収めたことが印象深い。今、日本社会は、経済的・社会的な不安材料が増加し、近い将来の地震災害予測など何処となく暗い雰囲気包まれている。日本人アスリートの国際舞台での活躍は、こんな日本社会に明るい話題を提供し、同時に何か勇気に似た活力を与えてくれようである。

日本人アスリートが国際舞台で活躍すると、私には思い出される想いが2つある。その一つは、日本が第二次世界大戦で敗戦し日本社会が暗かった頃、終戦数年にして水泳自由形の400m、800m、1500mの世界記録を樹立し日本社会を勇気付けた“フジヤマの飛び魚”こと古橋広之進選手の活躍である。古橋選手は、悪い食糧事情と戦時中左手中指を切断したハンディのある中、独自の工夫と強い精神力で記録を樹立したのであった。もう一つは、日本人アスリートが世界のトップに立ったとき、日本人には不利となるようなルール改

正が水泳やスキーノルディック競技などにおいて行われたことである。しかし、ルールが改正されて日本人に不利な条件となっても、またトップに躍り出て活躍を繰り返してきた。何か言い知れない感動を覚える。

スポーツの世界では、その能力を発揮する要素として「心・技・体」と表現されることがある。日本人の活躍の場合、技術的要素での独自の創意工夫から能力を発揮してきたことが多いと思われる。今、日本スポーツ界に身体技術として日本独特の思考が導入されつつある。それは、古武術の「ナンバ歩き」

話題の広場 SQUARE

スポーツは日本社会を 元気にさせられるのだろうか？

中 森 一 郎



絵 内山智廣

や「井桁崩し」などといった身体の動きである。昨年8月の世界陸上競技選手権パリ大会男子200m走で末續慎吾選手が銅メダルに輝いた。陸上競技の短距離走においてオリンピック及び世界選手権で初めて日本人メダリストが誕生したのである。この末續選手の走りは、「ナンバ歩き」から応用された「ナンバ走り」による成果であった。

スポーツにおける記録や勝敗そのものは、人類の進歩に大きく貢献するものではないかもしれない。しかし、個人においてスポーツはいろいろな意味をもたらしてくれる。例えば、戦前の日本人女子オリンピックメダリストが69歳の時脳溢血で倒れ残った重い後遺症に対して過去のスポーツ経験が再起の気力と

なって回復できたという人、スキー活動を継続してきたことから100歳となった現在も年間100日以上スキーを楽しんでいる人もいる。また、生活習慣病との闘いでは、身体を動かすことは欠かせない治癒方法の一つといわれている。スポーツ経験が、気力や生きがいとなり健康にも役立つ可能性がある。少子高齢化が進む日本社会で元気な高齢者が増加すれば、社会の活力の一助となるであろう。

高齢になるまで継続してスポーツをすることは易しいようで難しい。身体を動かす機会が減ってスポーツをすることから長く遠ざかっていると、動いた身体もスポーツをしていた身体も遠い過去のことと苦痛すら感じる状況に陥ってしまう。できれ

ば、若い年代からいろいろなスポーツに接して体験をし、継続的に実践できる知識と習慣を身に付けておくことが望ましいであろう。

1978年ユネスコ（国際連合教育科学文化機構）は、＜体育・スポーツ国際憲章＞を採択し、誰もがスポーツをすることは権利であると認めた。スポーツは、人々に期待と感動を与え、友好的な人間関係に貢献し、世界の文化として拡がりつつある。本年は、アテネで8月にオリンピック、9月にパラリンピックが開催される。日本人アスリートが活躍しそうな予感がする。あなたもスポーツからちょっと元気をもらってみませんか！

（なかもり かずお）
（助教授 体育学）